

科目名	共生社会の展開と実践		担当教員	江幡 真史、田畑 稔、 鳥居 昭久、西澤 達夫、 安田 和弘、宮地 恵美子、 柳澤 孝主、里村 恵子、 菊地 みほ、佐藤 章、 片岡 幸彦、若原 圭子、 近野 智子、小野寺 哲夫、 宮田 雅之、熊本圭吾	
学科	理学療法学科		学年	3 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	超高齢社会、健康寿命の延伸など、現代社会の課題を認識し、共生社会の維持向上に寄与できる理学療法士として、将来活動するための考え方を養う。「隣接他分野」で学修した身体機能の回復に隣接する他分野の知識・技術と「組織の経営・マネジメント」の学修を統合・総括し、共生社会の維持・向上に貢献しうる役割や支援にどのように展開・実践できるかについて、グループ演習により考察する。グループによるディスカッション結果の発表は、理学療法学科と作業療法学科の合同で行い、他学科における応用の考え方に触れる機会を設け、積極的に他職種と協働するための姿勢を育成する。この科目は展開科目と職業専門科目の担当教員が共同で行う。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 理学療法士として共生福祉の理念を実践する意義を説明できる。</li> <li>② 理学療法と「隣接他分野」の関連性について理解している。</li> <li>③ 「組織の経営・マネジメント」の知識・手法と「隣接他分野」で学修した知識を元に、理学療法士の役割を広げるアイデアやサービスを考えることができる。</li> <li>④ 多職種と協働するマインドを有している。</li> </ul>

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	1)授業の進め方と 2)共生社会の実現と展開における理学療法士の役割について
		予習	特になし
		復習	授業の内容についてまとめておく
2	展開・実践 アイデアの 検討と集約 ①	授業内容	「支援システム工学」について、事例研究を交えて学修する
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
3	展開・実践 アイデアの 検討と集約 ②	授業内容	グループに分かれ、前回の授業で学修した知識や事例を振り返ると共に、今後理学療法士が社会から求められる展開・実践アイデアについてディスカッションを行い、グループとして一つの案に集約する
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく

4	展開・実践 アイデアの 検討と集約 ③	授業内容	「スポーツ」の場を通じた人と人との関わりを、理学療法においてどのように展開することが可能か、事例研究を交えて学修する
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
5	展開・実践 アイデアの 検討と集約 ④	授業内容	グループに分かれ、前回の授業で学修した知識や事例を振り返ると共に、今後理学療法士が社会から求められる展開・実践アイデアについてディスカッションを行い、グループとして一つの案に集約する
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
6	展開・実践 アイデアの 整理	授業内容	3回目及び5回目の授業においてグループディスカッションを行った内容の要点を整理し、プレゼンテーションの準備を行う
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
7	発表と考察 (学科毎)	授業内容	3回目及び5回目の授業においてグループディスカッションを行った内容についてプレゼンテーションを行うと共に、他のグループとの視点の違いについて考察する
		予習	プレゼンテーションの準備を行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
8	展開・実践 アイデアを 構想化する 手順	授業内容	「組織の経営・マネジメント」の学修内容を振り返ると共に、7回目の授業にてプレゼンテーションを行った展開・実践アイデアの実現に向けて、構想にまとめ上げるための手順を学修する
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
9	構想化の手 法と活用①	授業内容	「組織の経営・マネジメント」に関する手法や具体的なフォーマットの活用方法について確認した上で、展開・実践アイデアの構想化に向けたグループディスカッションを行う
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
10	構想化の手 法と活用②	授業内容	「組織の経営・マネジメント」に関する手法を用いて、展開・実践アイデアの構想化に向けたグループディスカッションを行う
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
11	構想化の手 法と活用③	授業内容	「組織の経営・マネジメント」に関する手法を用いて、展開・実践アイデアの構想化に向けたグループディスカッションを行う
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
12	構想化の手 法と活用④	授業内容	「組織の経営・マネジメント」に関する手法を用いて、展開・実践アイデアの構想化に向けたグループディスカッションを行う
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく

13	構想の整理	授業内容	グループ毎に構想を整理し、プレゼンテーションの準備を行う
		予習	前回の授業内容の復習と今回の授業テーマについての下調べを行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
14	発表（学科合同）	授業内容	学科合同で構想についてのプレゼンテーションを行い、他学科との交流を行うと同時に、多様な考え方に触れる場とする
		予習	プレゼンテーションの準備を行う
		復習	授業の内容についてまとめておく
15	発表と講評（学科合同）	授業内容	学科合同で構想についてのプレゼンテーションを行い、その後教員による講評を行う
		予習	プレゼンテーションの準備を行う
		復習	授業の内容についてまとめておく

評価法基準	プレゼンテーション（80%） まとめレポート（20%）
教科書	適宜、必要な資料を配布 これまで受講した科目の中で、当該科目に関連する科目のテキストを使う場合があります
参考書	なし
履修上の注意	個人での学修よりも、グループ活動への貢献を評価します
オフィスアワー	授業の前後で受け付ける

科目名	共生福祉論		担当教員	柳澤 孝主	
学科	理学療法学科		学年	1 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	“共生福祉”に関する様々なとらえ方を把握した上で、“共生社会”との関連性を明確にする。また、支援専門職にとっての“共生福祉”の意味と意義を明らかにし、地域社会において多職種による連携・協働、市民の協力を得た上でのネットワーキングの必要性を明確にする。これらを具体的かつ実践的に学んでいく。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1、“共生”の意味を明確化する。</li> <li>2、“共生福祉”“共生社会”のあり方を具体的に説明できる。</li> <li>3、各支援専門職にとっての“共生福祉”の意義と意味を説明できる。</li> <li>4、地域社会における“共生福祉”の展開と可能性の輪郭を説明できる。</li> </ol>

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	“共生福祉”と本学の理念の関連性について、その異同を含めて学ぶ。
		予習	本学の理念を反芻し、“共生”“共生福祉”の基本的考え方を調べる。
		復習	授業の内容と本学の理念を照らし合わせ、自分なりに要点を整理する。
2	共生社会における社会福祉の意義	授業内容	“共生社会”の様々な捉え方を学び、“共生福祉”との関連性を明確にする。
		予習	共生社会の特徴とその実現のための諸条件を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、自分なりに要点を整理する。
3	社会福祉における“共存・共生”の理解①	授業内容	社会福祉におけるノーマライゼーションの考え方を具体的に学ぶ。
		予習	ノーマライゼーションの基本理念と特徴を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、自分なりに要点を整理する。ノーマライゼーションの具体例をリストアップする。
4	社会福祉における“共存・共生”の理解②	授業内容	社会福祉におけるリハビリテーションの考え方を具体的に学ぶ。
		予習	各種リハビリテーションの要点を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、自分なりに要点を整理する。社会福祉におけるリハビリテーションの特徴をリストアップする。
5	社会福祉における“共存・共生”の理解③	授業内容	社会福祉におけるボランティアの考え方を具体的に学ぶ。
		予習	ボランティアの言葉の意味と特徴を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、自分なりに要点を整理する。ボランティアの思想としての特徴を改めてリストアップする。
6	保健医療専門職にとっての“共生”の意味	授業内容	保健医療専門職にとってのノーマライゼーションの意味を問いながら、“共生”の意義を学ぶ。
		予習	保健医療専門職によるノーマライゼーションに関する具体例を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた具体例を照らし合わせ、要点を整理する。

7	リハビリテーション専門職としての“共生”の意味	授業内容	特に理学療法士、作業療法士にとってのリハビリテーションの意味を改めて問いながら、“共生”の意義を学ぶ。
		予習	社会リハビリテーションの具体例を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた具体例を照らし合わせ、要点を整理する。改めてリハビリテーションと“共生福祉”の関連を明確にする。
8	社会福祉専門職としての“共生”の意味	授業内容	社会福祉専門職にとってのボランティアの意味を問いながら、共生の意義を学ぶ。
		予習	社会福祉専門職によるボランティアのとらえ方の特徴を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、要点を整理する。
9	近接概念との関連性	授業内容	特に、“インクルージョン”“ダイバーシティ”と共生概念との異同を明確化する。
		予習	“インクルージョン”“ダイバーシティ”の基本的考え方を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、要点を整理する。
10	当事者にとっての“共生福祉”の意義①	授業内容	児童、高齢者、障害者それぞれにとって“共生福祉”とは何か、当事者の声を参考にしながら具体的に学ぶ。
		予習	児童、高齢者、障害者それぞれの“生きづらさ”の特徴を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、要点を整理する。
11	当事者にとっての“共生福祉”の意義②	授業内容	市民一般にとって“共生福祉”とは何か、当事者の声を参考にしながら具体的に学ぶ。
		予習	市民一般にとっての代表的な“生きづらさ”の特徴を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、要点を整理する
12	地域社会における“共生福祉”の展開①	授業内容	地域社会における援助専門職による多職種連携・協働の意義を明確にし、その具体的な展開とこれからの可能性を学ぶ。
		予習	地域社会における多職種連携の具体例を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、要点を整理する。
13	地域社会における“共生福祉”の展開②	授業内容	地域社会における援助専門職と市民との連携・協働の意義を明確にし、その具体的な展開とこれからの可能性を学ぶ。
		予習	地域社会における援助専門職と市民との連携例を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、要点を整理する。
14	共助と“共生福祉”	授業内容	各種ボランティア活動とセルフ・ヘルプ・グループの活動を参考にして、共助と“共生福祉”の異同を含めた関連性を学ぶ。
		予習	ボランティア活動、セルフ・ヘルプ・グループ、それぞれの具体例を調べる。
		復習	授業の内容と調べてきた事柄を照らし合わせ、要点を整理する。共助と“共生福祉”との関連性を改めて整理しておく。

15	共生社会の 実現に向け て	授業内容	“共生福祉”を通して真の“共生社会”とは何か、を問い、その特徴をリストアップし、身近なことからその実現へ向けての展望を図る。
		予習	典型的な“共生社会”の実例を調べる。
		復習	これまでの授業を振り返り、“共生社会”と“共生福祉”の関連性を明確にする。両者それぞれの実現のための諸条件をリストアップする。
評価法基準	期末レポート 70%、授業内課題 15% リアクションペーパーの提出回数と内容によって判断する 15% フィードバック：毎回リアクションペーパーの提出を求め、次回に数人（匿名）のリアクションペーパーを紹介し、質問に答えるとともに、前回の振り返りに活用する。		
教科書	なし		
参考書	「新・社会福祉学 - 共存・共生の臨床福祉学を目指して -」足立、佐藤、宮本編 中央法規 「共生福祉論 - 障害者・保育・施設・医療」吉本充賜 ミネルヴァ書房 その他、授業時に適宜紹介する。		
履修上の注意	毎回リアクションペーパーの提出を求める。ヴィジュアル資料や体験学習等の手法を活用することもある。積極的参加の態度で取り組むこと。		
オフィスアワー	火曜（12:10～12:50）、4-3 研究室 水曜（12:10～12:50）、4-3 研究室		

科目名	身体障害への支援システム工学 I	担当教員	西澤 達夫		
実務経験	電気会社半導体部門にて音声合成 LSI の応用技術開発に従事後、電気機器製造会社に移籍し、視覚障害者等の印刷物の読みに困難を持つ障害者向けの電子書籍規格であるデイジー規格の国際標準化に携わるとともに、プロジェクトリーダーとして同規格に対応した視覚障害者向けの読書機を開発・製品化した。これらの実務経験に基づき、様々な障害への理解と支援システムの設計・実現手法、およびその評価手法について講義を行う。				
学科	理学療法学科	学年	2 学年		
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>ロボットに代表される工学における支援システムの開発から市場投入までの一連のプロセスを、実証実験手法も含めて体系的に学ぶ。</p> <p>基礎として、人間の感覚、認知、認識特性に基づくヒューマンインタフェースの設計手法について学習する。次に障害特性の定義と代行手段の選択に基づいた要件定義と製品化手法について、保健医療の現場で行う試作機を用いた実証実験による仮説検証手法とアンケートの評価手法に重点を置いて学ぶ。</p>
到達目標	<p>① 障害特性の定義と代行手段の選択に基づく支援システムの要件定義、製品化手法を説明できる。</p> <p>② 保健医療分野の現場における仮説検証に基づいた実証実験手法を説明できる。</p>

No.	テーマ	内容	
1	オリエンテーション	授業内容	講義の目的と授業方法、参考資料等についてのガイダンス
		予習	不要
		復習	授業内容をまとめておくこと
2	人間の感覚、認知、認識特性	授業内容	人間の感覚、認知、認識特性の特徴と VR (仮想現実)
		予習	VR の応用事例を調査しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
3	ヒューマンインタフェースの設計手法	授業内容	ヒューマンインタフェースの各種事例と設計上の留意点
		予習	コンピュータゲーム機器のインタフェースを調査しておくこと
		復習	身近な機器、サービスにおける操作トラブル事例をまとめておくこと
4	ヒューマンインタフェースの事例検討	授業内容	操作トラブル事例についてグループワークし、その改善策を発表する
		予習	操作トラブル事例の改善策をまとめておくこと (参考文献リスト提示)
		復習	グループワークで得られた知見を基にヒューマンインタフェースの設計手法についての理解を深めること
5	障害特性の定義	授業内容	障害の種類と障害特性の社会モデルに基づく定義
		予習	福祉における障害種別を調べておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
6	障害特性に基づく代行手段の選択-1	授業内容	情報保障による支援システム
		予習	スマートフォンや PC の支援機能を調べておくこと
		復習	自身で使っているスマホや PC で支援機能を使い感想をまとめておくこと

7	障害特性に基づく代行手段の選択—2	授業内容	機器（ロボット等）による支援システム
		予習	障害種別に機器による支援例を調べておくこと（参考文献リスト提示）
		復習	授業内容をまとめておくこと
8	中間まとめ	授業内容	人間の感覚、認知、認識特性に基づく障害種別支援システムの構築
		予習	1～7コマまでの講義の内容をまとめておくこと
		復習	中間レポートとして今までの講義から得られた知見を提出すること
9	支援システム事例	授業内容	保健医療分野における支援システム開発のケーススタディ
		予習	保健医療分野での支援システムの好事例を調べておくこと（参考文献リスト提示）
		復習	授業内容をまとめておくこと
10	支援システムの設計手法	授業内容	支援システムの要件定義、商品企画、開発、実証実験、製品化までの手順
		予習	保健医療分野の新製品・サービスを調べておくこと（参考文献リスト提示）
		復習	授業内容をまとめておくこと
11	商品企画の事例検討	授業内容	新製品開発についてグループワークし、商品企画内容を発表する
		予習	保健医療分野の新製品のアイデアを検討しておくこと
		復習	グループワークで得られた知見を基に理解を深めること
12	仮説検証と実証実験	授業内容	仮説検証に基づく、実証実験の手法
		予習	試作品による保健医療分野における検証事例を調べておくこと（参考文献リスト提示）
		復習	授業内容をまとめておくこと
13	倫理審査	授業内容	倫理審査の必要性和審査項目
		予習	個人情報保護、人権について調べておくこと（参考文献リスト提示）
		復習	授業内容をまとめておくこと
14	アンケート手法と統計的手法による検証	授業内容	アンケート項目の策定と統計的手法に基づく有効性の判定
		予習	アンケート調査事例を調べておくこと（参考文献リスト提示）
		復習	授業内容をまとめておくこと
15	最終まとめ	授業内容	講義全体のまとめと情報更新、Q&A
		予習	質問事項をまとめておくこと
		復習	レポート提出

評価法基準	授業内最終レポート 30%（最終回授業時）、期末試験 25% 中間試験 25%、中間レポート 20%（第 8 回授業時）
教科書	講義の事前に配布、参考文献リストは予習用に配布
参考書	なし
履修上の注意	自身で使用しているスマートフォンや PC の支援機能を調べ、学習等の日常生活で使ってみてその効果について、体験してみる
オフィスアワー	授業実施日の昼休み（12:10～12:50） 5-4 研究室



科目名	身体障害への支援システム工学Ⅱ	担当教員	西澤 達夫		
実務経験	電気会社半導体部門にて音声合成 LSI の応用技術開発に従事後、電気機器製造会社に移籍し、視覚障害者等の印刷物の読みに困難を持つ障害者向けの電子書籍規格であるデイジー規格の国際標準化に携わるとともに、プロジェクトリーダーとして同規格に対応した視覚障害者向けの読書機を開発・製品化した。これらの実務経験に基づき、様々な障害への理解と支援システムの設計・実現手法、およびその評価手法について講義を行う。				
学科	理学療法学科	学年	3 学年		
学期	前期	必修 / 選択	必修	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	福祉機器の製品化プロセスを障害当事者向けのマウス操作のインタフェースを事例に学ぶ。インタフェースは、障害種別を想定して試作する。実証実験では、試作したインタフェースを PC (Windows) の補助機能の組み合わせで機能評価とアンケートを実施し、統計的解析手法を用いてその有効性を検証する。
到達目標	① 支援システムの要件定義、製品化手法を説明できる。 ② 支援システムの試作品評価における実証実験手法と倫理審査の実施手順を説明できる。

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	演習の目的と授業方法、参考資料等についてのガイダンス
		予習	不要
		復習	不要
2	PC (Windows) 補助機能- 1	授業内容	表示、キーボード、マウス操作機能
		予習	自身の PC の補助機能を確認しておく
		復習	不要
3	PC (Windows) 補助機能- 2	授業内容	スクリーン読み上げ機能
		予習	スクリーンリーダーを調べておく (参考文献リスト提示)
		復習	不要
4	ヒューマンインタフェースの設計- 1	授業内容	肢体障害を想定したマウス操作インタフェースの要件定義
		予習	2 コマ目の補助機能を再確認しておく
		復習	不要
5	ヒューマンインタフェースの設計- 2	授業内容	グループ内でお互いの要件定義内容を発表し、デザインレビューを実施
		予習	要件定義をまとめておくこと (書式提示)
		復習	不要
6	ヒューマンインタフェースの設計- 3	授業内容	肢体障害を想定したマウス操作インタフェースのシステム設計
		予習	要件定義を設計仕様に展開しておくこと (書式提示)
		復習	不要
7	ヒューマンインタフェースの設計- 4	授業内容	知的財産権 (特許等) の概要とその申請手続き
		予習	4 コマから 6 コマまでの設計資料をまとめておく (書式提示)
		復習	不要

8	中間まとめ	授業内容	特許申請書の作成
		予習	既存製品・技術をまとめておく（書式提示）
		復習	中間レポート特許申請書として提出すること
9	機構設計	授業内容	設計仕様に基づき、機構設計を行い、必要部材をリストアップ
		予習	3Dモデリング設計に必要な項目を把握しておく（書式提示）
		復習	不要
10	実証実験の仕様、アンケート調査項目策定	授業内容	仮説検証項目、アウトカム、アンケート項目の策定
		予習	中間レポートを確認しておく
		復習	不要
11	倫理審査	授業内容	倫理審査必要書式の作成
		予習	倫理審査の記入項目を確認しておくこと（書式提示）
		復習	被験者を模して、倫理審査の書式に記入する
12	試作と動作確認	授業内容	部材を組み立てて、動作確認を行う
		予習	不要
		復習	動作確認を完了させる
13	実証実験	授業内容	グループ内で、実証実験、アンケートを実施
		予習	実証実験項目、アンケートをリストアップしておくこと（書式提示）
		復習	不要
14	統計的手法による検証	授業内容	統計的手法に基づく有効性の判定
		予習	エクセルによる統計処理方法を調べておくこと（参考文献リスト提示）
		復習	結果を報告書としてまとめておくこと
15	最終まとめ	授業内容	演習全体のまとめと情報更新、Q&A
		予習	質問事項をまとめておくこと
		復習	最終レポートとして、試作品の実証実験関連資料、検証結果を報告書として提出すること

評価法基準	中間レポート（40%）・・・第8回授業時 最終レポート（60%）・・・最終回授業時
教科書	講義の事前に配布、参考文献リスト、各種記入書式は予習用に配布
参考書	なし
履修上の注意	自身で使用しているスマートフォンやPCの支援機能を調べ、学習等の日常生活で使ってみてその効果について、体験してみる
オフィスアワー	授業実施日の昼休み（12:10～12:50） 5-4 研究室

科目名	コーチングの理論とスポーツの連携 I		担当教員	陶山 哲夫、片岡 幸彦	
学科・専攻	理学療法学科		学年	2 学年	
学期	後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	健康寿命の延伸の指導・支援に関わるためのコーチングの知識、考え方、スキルを学ぶとともに、コーチングの場面における課題を明確にし、それに対する問題解決スキルを習得することをねらいとする。また指導者・支援者としてのコーチングスタイルを明確にするとともに継続的に学習するための考え方を醸成する。この科目はコーチングの哲学を理解することを中心に置き、個人およびチームのコーチングを実現するためのケーススタディも含めて展開していく。
到達目標	コーチング哲学を習得し、クライアントの成長を支えるコーチとしてのあり方を身につける 健康寿命の延伸を支える現場において、コーチとしての問題解決能力の習得と指導法を身につける クライアントの潜在能力を引き出し、解放させられるコーチとしての素養を醸成する

No.	テーマ		内容
1	ガイダンス	授業内容	オリエンテーション：授業計画、厚労省「健康寿命の延伸」運動の重要性
		予習	厚労省のHPを確認し該当箇所を調べておく
		復習	理学療法士として該当箇所をまとめておく
2	コーチングのあり方1	授業内容	コーチングの哲学1：近年のコーチングの考え方： (近年の青少年指導の問題と課題)
		予習	コーチとしてのコーチングのあり方を考える
		復習	自分自身のコーチング哲学とコーチングスタイルをまとめる
3	コーチングのあり方2	授業内容	コーチングの哲学2：コーチングとは何かの原則
		予習	コーチとしてのコーチング場面を考える
		復習	自分の経験をまとめる
4	コーチングスキル1	授業内容	コーチとして患者との関係づくり
		予習	患者との関係づくりに必要なことは何か考える
		復習	信頼性を高めるには何が必要か
5	コーチングスキル2	授業内容	コーチとして必要なコミュニケーション1：患者の感情とニーズ
		予習	感情の裏にあるニーズを考える
		復習	自分の過去の経験を整理する
6	コーチングスキル3	授業内容	コーチとして必要なコミュニケーション2：風通しの良い双方向のコミュニケーション、感情タンク
		予習	いつもどのように相手に対して承認しているか
		復習	身近な人の感情タンクを満たす
7	コーチングスキル4	授業内容	目標設定と行動に向けたモチベーション向上：動機づけの源泉を活用
		予習	どのような時にモチベーションがあがるか
		復習	自分自身のモチベーションの源泉をまとめる

8	コーチング スキル 5	授業内容	コーチングフローを活用した問題解決の実践 1：1対1のコーチングフロー
		予習	相談を受けたときにどのように対処しているか
		復習	コーチングフローを自分なりにまとめる
9	コーチング スキル 6	授業内容	コーチングフローを活用した問題解決の実践 2：コーチングフローの体験
		予習	患者さんの状況に合わせたコーチングの進め方
		復習	問題解決コーチングを身近な人を対象に実践する
10	コーチング 実践	授業内容	コーチングフローを活用した問題解決の実践 3：コミュニケーションタイプ別コーチング
		予習	課題をもとにコーチング課題を検討する
		復習	演習をもとにコーチング課題をまとめる
11	チームコー チング現場 の課題 1	授業内容	ケーススタディ 5：「チーム医療（急性期）の課題」
		予習	取り組み課題について調べておく
		復習	取り組み課題をまとめる
12	チームコー チング 1	授業内容	「チーム医療（急性期）のチームコーチング」
		予習	課題をもとにコーチング課題を検討する
		復習	演習をもとにコーチング課題をまとめる
13	チームコー チング現場 の課題 2	授業内容	ケーススタディ 6：「チーム医療（生活期）の課題」
		予習	取り組み課題について調べておく
		復習	取り組み課題をまとめる
14	チームコー チング 2	授業内容	「チーム医療（生活期）のチームコーチング」
		予習	課題をもとにコーチング課題を検討する
		復習	演習をもとにコーチング課題をまとめる
15	コーチング のまとめ	授業内容	これまでの学習内容のまとめ
		予習	コーチング課題を整理しておく
		復習	コーチングを実践する

評価法基準	授業内レポート 50 点、定期試験 50 点 合計 100 点
教科書	教科書は使用しない 毎回レジюмеで対応する
参考書	「ダブル・ゴール・コーチングの持つパワー」 ジム・トンプソン著、フィル・ジャクソン序文 特定非営利法人 スポーツコーチング・イニシアチブ 「コーチング・バイブル」 ヘンリー・キムジーハウス他著 東洋経済新報社
履修上の注意	全回出席して、クラス討議に貢献すること。 予習がクラス討議の質を高める。必ず予習をしてくること。 授業で学ぶのみならず、様々な事例を調査したり、現実での活用場面を考えたりすること。
オフィスアワー	授業の前後で受け付ける

科目名	コーチングの理論とスポーツとの連携Ⅱ		担当教員	陶山 哲夫、片岡 幸彦	
学科	理学療法学科		学年	3 学年	
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>コーチングの理論とスポーツの連携Ⅰで学んだコーチングの基本的な考え方をもとにして、指導者・支援者が様々な現場で直面する課題を解決する力を身につけ、不測の事態に直面しても方法論にとどまらない本質的な課題を抽出し、解決策を立案・提示できる力を身につけることをねらいとする。同時に自分自身の関心のあるテーマでのグループ討議、まとめ、発表を通じてチームワークを醸成し、チームマネジメントの考え方も体験的に学ぶことももう一つのねらいとする。</p>
到達目標	<p>コーチングスキルを習得し各種課題について現状分析、課題抽出、解決策立案ができる。 各種現場の現状や課題を理解することで自分自身の研究テーマの掘り下げを行うことができる。</p>

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	ガイダンス：授業計画 スポーツをリハビリに活用することの効用、体力テスト
		予習	リハビリにとってスポーツを行うことがなぜいいのか
		復習	リハビリの効用をまとめる
2	コーチングスキル	授業内容	コーチングフロー、コーチング課題の明確化
		予習	コーチングフローの復習をしておく
		復習	どのようなテーマで取り組むか検討しておく
3	コーチング現場の課題1	授業内容	：「リハビリ現場（健康回復）での課題」行動変容ステージⅠ
		予習	取り組み課題について調べておく
		復習	取り組み課題をまとめる
4	コーチング実践1	授業内容	「リハビリ現場（健康増進と病気との関係）での課題」行動変容ステージⅡ
		予習	課題をもとにコーチング課題を検討する
		復習	演習をもとにコーチング課題をまとめる
5	コーチング現場の課題2	授業内容	ケーススタディ1：「高齢者（脳血管障害）のリハビリ場面のコーチング課題」
		予習	取り組み課題について調べておく
		復習	取り組み課題をまとめる
6	コーチング実践2	授業内容	「高齢者（脳血管障害）に対するリハビリ場面のコーチング」
		予習	課題をもとにコーチング課題を検討する
		復習	演習をもとにコーチング課題をまとめる
7	コーチング現場の課題3	授業内容	ケーススタディ2：「青少年（スポーツ障害）のリハビリ場面のコーチング課題」
		予習	取り組み課題について調べておく
		復習	取り組み課題をまとめる
8	コーチング実践3	授業内容	「青少年（スポーツ障害）に対するリハビリ場面のコーチング」
		予習	課題をもとにコーチング課題を検討する
		復習	演習をもとにコーチング課題をまとめる

9	コーチング 現場の課題 4	授業内容	ケーススタディ 3 : 「女性高齢者（心疾患）のリハビリ場面のコーチング課題」
		予習	取り組み課題について調べておく
		復習	取り組み課題をまとめる
10	コーチング 実践 4	授業内容	「女性高齢者（心疾患）」に対するリハビリ場面のコーチング」
		予習	課題をもとにコーチング課題を検討する
		復習	演習をもとにコーチング課題をまとめる
11	コーチング の実際 1	授業内容	リハビリテーション（個別対応）とチームトレーニングのコーチング
		予習	マンツーマンでリハビリを対応する時と、大勢で運動指導を受ける時の何が違うかを考える
		復習	個別での対応とスポーツ現場におけるチームトレーニングについて、どのような効果を狙い、どのような工夫をするかをまとめる
12	コーチング の実際 2	授業内容	地域スポーツと高齢者スポーツのコーチング
		予習	地域スポーツに関わる理学療法士について調べる 高齢者の身体的特徴について今まで学んだことを復習してくる
		復習	どのような形で地域スポーツと関わっていきたいか、また、高齢者にコーチングする際の適用についてまとめる
13	チームコー チング 1	授業内容	発達段階に応じたコーチング
		予習	発達段階について調べる
		復習	発達段階を踏まえ、コーチング内容についてまとめる
14	チームコー チング 2	授業内容	女性にトレーニング処方する際の注意点
		予習	女性の身体的特徴について調べる
		復習	女性の身体的特徴を踏まえ、コーチングする際の注意点についてまとめる
15	チームコー チング 3	授業内容	安全管理とリスクマネジメント スポーツ活動を行う上で行うべき安全管理について学ぶ
		予習	スポーツで多い怪我について 調べてくる
		復習	Emergency Action Plan（EAP）についてまとめる

評価法基準	授業内レポート 100%、
教科書・参考書	教科書は使用しない 毎回レジュメで対応する
参考書	「コーチング・バイブル」ヘンリー・キムジーハウス他著 東洋経済新報社 「コーチング・マネジメント」伊藤 守著 ディスカバー・トゥエンティワン
履修上の注意	全回出席して、クラス討議に貢献すること。 グループで検討し発表するスタイルを中心に進めていくので、協力関係をつくること。 授業で学んだことを契機に関心あるテーマを自分で調べたり、考えたりすること。
オフィスアワー	授業の前後で受け付ける

科目名	障害者の社会参加とスポーツの教育的活用 I		担当教員	鳥居 昭久、菊地 みほ	
学科	理学療法学科		学年	2 学年	
学期	後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	「障がい者の社会参加促進」は、共生社会において重要なテーマであるが、実際には社会参加のための情報・知識・技術を持つことが難しいという課題がある。障がい者スポーツは、スポーツというアイテムを通して障がい者の社会参画機会を増やし、生活の質の向上に役立つ有効な活動である。本講義では教育原理や教育方法論的な視点から障がい者スポーツについての理解を深め、障がい者スポーツとその教育の普及促進のために出来ることを学ぶ。
到達目標	① 「障がい者の社会参加」について考えを深める。 ② 障がい者スポーツについて理解を深める。 ③ 障がい者スポーツ及びその教育活動の普及について理解する。

No.	テーマ		内容
1	障がいの理解と障害者福祉	授業内容	講義の目的・概要・授業の進め方について
		予習	障がい者関連のニュース・トピックス等に興味を持ち、触れておく
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
2	障がい者の社会参加	授業内容	障がい者福祉の社会参加について
		予習	障がい者の社会参加について調べておく
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
3	障がい者と教育学	授業内容	障がい者と教育学について
		予習	教育に関するニュース・トピックス等に興味を持ち、触れておく
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
4	障がい者スポーツの意義	授業内容	障がい者スポーツの意義と理念について
		予習	障がい者スポーツに関するニュース・トピックス等に興味を持ち、触れておく
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
5	障がい者スポーツの特徴	授業内容	障がい者スポーツの特徴
		予習	障がい者スポーツに関するニュース・トピックス等に興味を持ち、触れておく
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
6	障がい者スポーツの歴史	授業内容	パラリンピックと障害者スポーツの歴史
		予習	パラリンピックに関わるエピソードについて予習する
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
7	障がい者スポーツの種類	授業内容	様々な障がい者スポーツ
		予習	障がい者スポーツの種類について調べてみる
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと

8	障がい者 スポーツ 指導者制 度	授業内容	指導者制度とその関連事項
		予習	スポーツ指導者に関わる資格について調べてみる
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
9	障がい者 スポーツ の実際	授業内容	障がい者スポーツ選手の体力と心理
		予習	解剖学、生理学の復習をしておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
10	障がい者 スポーツ の実際	授業内容	障がい者スポーツにおけるスポーツ外傷・障害とリスク管理
		予習	スポーツ外傷・スポーツ障害について調べてみる
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
11	障がい者 スポーツ の支援	授業内容	障がい者スポーツに対する理学療法支援
		予習	理学療法概論の内容を復習しておく
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
12	障がい者 スポーツ の支援	授業内容	障がい者スポーツに対する理学療法支援
		予習	理学療法概論の内容を復習しておく
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
13	障がい者 スポーツ ・教育等 最新状況	授業内容	障がい者スポーツ・教育・リハビリ等の最新状況
		予習	障がい者スポーツに関するニュース・トピックス等に興味を持ち、触れておく
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
14	障がい者 スポーツ ・教育等 最新状況	授業内容	障がい者スポーツ・教育・リハビリ等の最新状況
		予習	障がい者スポーツに関するニュース・トピックス等に興味を持ち、触れておく
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
15	まとめ	授業内容	講義の振り返りと総まとめ
		予習	これまでの授業のまとめを読み返しておく
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと

評価法基準	定期試験 50%、授業内レポート 50%
教科書	「障がいのある人のスポーツ指導教本」日本障がい者スポーツ協会編 ぎょうせい
参考書	なし
履修上の注意	障がい者の社会参加、障がい者スポーツ、障がい者スポーツ指導に関心を持ち、積極的に参加すること。
オフィスアワー	授業の前後で受け付ける



科目名	障害者の社会参加とスポーツの教育的活用Ⅱ		担当教員	鳥居 昭久、菊地 みほ	
学科	理学療法学科		学年	3 学年	
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	この授業では、「障害者の社会参加とスポーツの教育的活用Ⅰ」で学んだ知識を活かし、障がい者スポーツ教育を実践できる力の習得をめざす。グループワークによる障がい者スポーツ教育の指導案作成、ロールプレイによる発表を行い、実際に障がい者スポーツ教育の現場を見学したり、指導者の話を聞く等の授業も行う。
到達目標	① 地域における障がい者の社会参加と障がい者スポーツについて理解を深める。 ② 障がい者スポーツ教育の実際について理解を深める。 ③ 障がい者スポーツ教育の実践力を身につける。

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	オリエンテーション
		予習	障がい者の社会参加や障がい者スポーツに関するニュース等にふれておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
2	障がい者スポーツの概要	授業内容	障がい者スポーツと障がい者スポーツ教育の概要
		予習	障がい者スポーツについて調べておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
3	障がい者の社会参加	授業内容	地域における障がい者の社会参加について
		予習	自分の住んでいる地域でどのような活動があるかを調べておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと
4	障がい者の社会参加の実際	授業内容	障がい者の社会参加の現場を見学・支援する（東京都）
		予習	これまでの授業のまとめを見直しておくこと
		復習	見聞した内容を整理し、まとめておくこと
5	障がい者の社会参加の実際	授業内容	障がい者の社会参加の現場を見学・支援する（神奈川県）
		予習	これまでの授業のまとめを見直しておくこと
		復習	見聞した内容を整理し、まとめておくこと
6	障がい者の社会参加の実際	授業内容	障がい者の社会参加の現場を見学・支援する（埼玉県）
		予習	これまでの授業のまとめを見直しておくこと
		復習	見聞した内容を整理し、まとめておくこと
7	障がい者スポーツ教育の実際	授業内容	障がい者スポーツ教育の現場を見学する（東京都）
		予習	これまでの授業のまとめを見直しておくこと
		復習	見聞した内容を整理し、まとめておくこと
8	障がい者スポーツ教育の実際	授業内容	障がい者スポーツ教育の現場を見学する（神奈川県）
		予習	これまでの授業のまとめを見直しておくこと
		復習	見聞した内容を整理し、まとめておくこと

9	障がい者スポーツ教育の実 際	授業内容	障がい者スポーツ教育の現場を見学する（埼玉県）
		予習	これまでの授業のまとめを見直しておくこと
		復習	見聞した内容を整理し、まとめておくこと
10	障がい者スポ ーツ教育指導 案作成	授業内容	障がい者スポーツ教育指導案作成①
		予習	指導案について考えておくこと
		復習	活動内容を整理し、まとめておくこと
11	障がい者スポ ーツ教育指導 案作成	授業内容	障がい者スポーツ教育指導案作成②
		予習	前回のグループワークをふまえ、指導案について考えておくこと
		復習	活動内容を整理し、まとめておくこと
12	障がい者スポ ーツ教育指導 案作成	授業内容	障がい者スポーツ教育指導案作成③
		予習	前回のグループワークをふまえ、指導案について考えておくこと
		復習	活動内容を整理し、まとめておくこと
13	指導案発表	授業内容	障がい者スポーツ教育指導案発表
		予習	作成した指導案を見直しておくこと
		復習	発表内容を整理し、まとめておくこと
14	障がい者スポ ーツと教育の 普及について	授業内容	障がい者スポーツとその教育の普及について
		予習	これまでの授業のまとめを見直しておくこと
		復習	授業内容整理し、まとめておくこと
15	まとめ	授業内容	これまでの授業の総まとめ
		予習	これまでの授業のまとめを見直しておくこと
		復習	授業内容および疑問点をまとめておくこと

評価法基準	活動レポート、学会レポート 50%、発表 50%
教科書	必要に応じてレジュメと資料を配布する。
参考書	関係成書
履修上の注意	障がい者スポーツ教育に関心を持ち、グループワークに積極的に参加すること 東京都総合障がい者スポーツセンターの見学（日程未定）、江東区障がい者福祉大会（12月3日）などのイベント参加が含まれます。詳細は最初の授業の際に説明します。 日本障がい者スポーツトレーナー学会（11月19日）、日本ヒューマンケアネットワーク学会（12月18日）などの関係学会への参加をします。詳細は授業内で説明します。
オフィスアワー	授業の前後で受け付ける

科目名	ユニバーサルツーリズムと外出支援 I	担当教員	若原 圭子		
実務経験	流通系シンクタンク、大手旅行会社のシンクタンクで研究員・コンサルタントとして 30 年以上にわたり、ライフスタイル研究、ツーリズム研究、国や自治体の進めるバリアフリーやユニバーサルツーリズムに関する事業に携わってきました。高齢者介護や移動支援の実務経験もあり、これらの経験を活かして、誰もが旅行や外出を楽しめることの意義やその方策について学んでいただきます。本科目の学びは医療職としての強みとなるでしょう。				
学科	理学療法学科	学年	2 学年		
学期	後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	年齢や障害などに関わらず、誰もが外出や旅行を楽しむユニバーサルツーリズムの定義、意義について学ぶ。高齢者や障がい者などは施設や住宅での限られた環境下の生活から、「お出かけ」をすることで徐々に社会参加が促進される。本人への刺激、生きがい、健康増進への意欲が促進されるだけでなく、周囲の人々への理解を深めるなど、外出の意味は大きい。外出や旅行の意義、共生社会へつながる一歩であることなどを、ユニバーサルデザインやバリアフリーとの関係、障害の社会モデルについて、先進事例などを紹介しながら国内の状況について考える。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 福祉の基礎知識を、「まち」に応用して考える視点を持つことができる。</li> <li>② 高齢者や障がい者が「外出・旅行」する意義を説明できる。</li> <li>③ 高齢者や障がい者が主語になるのではなく、「誰もが同様に」という共生社会について説明できる。</li> <li>④ 共生社会の実現のために、何が必要かを自分の言葉で説明できる。</li> </ul>

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	講義目的、講義内容、評価方法、ゴールについて。観光学について概観
		予習	シラバスを読んでおくこと。(履修者は)観光学の講義内容を復習しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
2	ユニバーサルツーリズムとは 1	授業内容	ユニバーサルツーリズムの定義、全体像、対象者、背景などについて
		予習	多様な人の旅行、外出時の困り事を考えてくること
		復習	授業内容をまとめておくこと
3	ユニバーサルツーリズムとは 2	授業内容	関係概念 (バリアフリー、ユニバーサルデザイン等) や関係法について
		予習	関係概念について下調べしてくる
		復習	授業内容をまとめておくこと
4	ユニバーサルツーリズムとは 3	授業内容	ユニバーサルツーリズムの対象者の特徴、困り事、必要な配慮について
		予習	困り事への対応を考えてくること
		復習	授業内容をまとめておくこと
5	外出・旅行の意義・課題	授業内容	高齢者、障がい者の外出・旅行の意義、本人への効用、周囲への影響について (グループディスカッションあり)
		予習	高齢者、障がい者にとっての外出・旅行の意義について考えてくること
		復習	授業内容をまとめておくこと

6	ユニバーサルツーリズムの国際比較 1	授業内容	ユニバーサルツーリズムの海外の状況とその背景について概観
		予習	海外のユニバーサルツーリズムについて考えてくること
		復習	授業内容をまとめておくこと
7	ユニバーサルツーリズムの国際比較 2	授業内容	ユニバーサルツーリズムの海外事例について
		予習	海外のユニバーサルツーリズムについて考えてくること
		復習	授業内容をまとめておくこと
8	日本のユニバーサルツーリズムの取組み	授業内容	日本のユニバーサルツーリズムの取組み状況や担い手について
		予習	身のまわりのユニバーサルツーリズムについて考えてくること
		復習	授業内容をまとめておくこと
9	旅行業におけるユニバーサルツーリズム	授業内容	旅行業におけるユニバーサルツーリズムについて
		予習	旅行業におけるユニバーサルツーリズムについて考えてくること
		復習	授業内容をまとめておくこと
10	交通機関におけるユニバーサルツーリズム	授業内容	交通機関におけるユニバーサルツーリズムについて
		予習	交通機関での身近な事例を探しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
11	宿泊施設におけるユニバーサルツーリズム	授業内容	宿泊施設におけるユニバーサルツーリズムについて
		予習	宿泊施設における身近な事例を探しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
12	観光まちづくりにおけるユニバーサルツーリズム	内容	観光まちづくりにおけるユニバーサルツーリズムについて
		予習	観光まちづくりにおける身近な事例を探しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
13	観光施設におけるユニバーサルツーリズム	授業内容	観光施設におけるユニバーサルツーリズムについて
		予習	観光施設における身近な事例を探しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
14	飲食サービス業におけるユニバーサルツーリズム	授業内容	飲食サービス業におけるユニバーサルツーリズムについて。視覚障害者接遇演習
		予習	飲食サービス業における身近な事例を探しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
15	まとめ	授業内容	14回の講義のまとめ、得られた学びの発表とディスカッション
		予習	14回の振り返りと発表の準備をしてくること
		復習	全授業の振り返りと自分の中の気づきを整理しておくこと

評価法基準	<p>期末課題レポート 60%、授業内ミニレポート 20%、口頭発表 20%</p> <p>基準：課題レポートは、5つのテーマのうち2つを選択し、理解度、論理性、自身の考えを述べているかなど複数の項目でその内容を評価する（30点×2テーマ）。</p> <p>評価基準は授業初回時に明示する。</p> <p>フィードバック：講義での疑問点は、随時、全体に向けてフィードバックを行う</p>
教科書	なし（講義後プリント配布）
参考書	<p>「観光と福祉」島川崇 成山堂書店、</p> <p>「福祉のまちづくりその思想と展開」高橋 儀平 彰国社</p> <p>「ユニバーサルデザインの基礎と実践」鹿島出版会 いずれも購入は任意</p>
履修上の注意	<p>授業では講義のほかグループディスカッションを行う</p> <p>観光学を受講していることが望ましい</p>
オフィスアワー	<p>火曜日（12:10～12:50）、4・5 研究室</p> <p>金曜日（12:10～12:50）、4・5 研究室</p>

科目名	ユニバーサルツーリズムと外出支援Ⅱ	担当教員	若原 圭子		
実務経験	流通系シンクタンク、大手旅行会社のシンクタンクで研究員・コンサルタントとして30年以上にわたり、ライフスタイル研究、ツーリズム研究、国や自治体の進めるバリアフリーやユニバーサルツーリズムに関する事業に携わってきました。高齢者介護や移動支援の実務経験もあり、これらの経験を活かして、誰もが旅行や外出を楽しめることの意義やその方策について学んでいただきます。本科目では、社会課題への気付きを得ながら、より実践的な企画・プレゼンテーションについても学びます。				
学科	理学療法学科	学年	3 学年		
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	演習
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	年齢や障害などに関わらず、誰もが外出や旅行を楽しむユニバーサルツーリズムについて、実際の街を歩いてその課題と解決策についてグループワークを通して学ぶ。高齢者や障がい者が実際の街でどのような不便があり、誰もが外出や旅行を楽しむためには何が必要かをグループワーク、フィールドワークを通して考える。改善提案では地域の活性化につなげたプランについて、プレゼンシートを作成し、コンテスト形式で発表を行う。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 共生社会の実現のために、具体的にどのような課題があるかに気づくことができる</li> <li>② 様々なバリアの解消方法を提案することができる</li> <li>③ ユニバーサルツーリズムを地域活性化につなげる視点を持つことができる</li> <li>④ グループでコミュニケーションをとりながらゴールに到達することができる</li> <li>⑤ グループでプレゼンシートを作成し、分担してプレゼンテーションを行うことができる</li> </ul>

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	講義目的、演習内容、評価方法、ゴールについて、外出・旅行に必要な配慮について
		予習	ユニバーサルツーリズムⅠの講義内容を復習しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
2	バリア調査演習	授業内容	演習概要等説明、バリア調査演習
		予習	バリア調査についての資料を読むこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
3	観光商品企画・マーケティング	授業内容	観光マーケティング・地域活性化に関するポイント、課題エリアについて
		予習	観光学（履修者）、ユニバーサルツーリズムと外出支援Ⅰの講義内容を復習しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
4	外出・旅行、地域活性化のポイント	授業内容	エリア分析、企画素案の立て方
		予習	課題エリアについて調べてくること
		復習	授業内容をまとめておくこと
5	エリア素材の発掘	授業内容	個人で企画素案発表、グループ分け、エリア素材の発掘、選定、決定
		予習	エリア内の観光素材を調べ企画素案の発表準備をしてくること
		復習	決定内容の確認、現地で何を調べるかの確認をしておくこと

6	企画アウト ライン作成	授業内容	グループで、対象者、テーマ決定、ツアー計画素案作成
		予習	誰を対象にどのようなプランとするか、何を確認するか考えてくること
		復習	決定内容の確認をしておくこと
7	フィールド ワーク計画	授業内容	グループでフィールドワーク計画作成、提出
		予習	誰を対象に、何を確認するかを考えてくること
		復習	計画の詳細を確認しておくこと
8	フィールド ワーク 1	授業内容	グループで選択候補地の確認（どのような場所か、想定したとおりか）
		予習	計画の精査、事前にネット等で確認しておくこと
		復習	フィールドワークで気づいたことをまとめておくこと
9	報告会及び 計画修正	授業内容	グループでフィールドワーク結果の整理と報告、計画修正と確認事項検討
		予習	報告内容の確認、計画の修正案を考えておくこと
		復習	計画修正の確認、グループでの共有、現地での確認事項を考えておくこと
10	フィールド ワーク 2	授業内容	グループで決定候補地の課題確認（バリアチェックなど）、提案書の方向性の確認
		予習	チェック項目の確認をしておくこと
		復習	フィールドワークの結果の整理をしておくこと
11	提案に向け たワーク	授業内容	気づいた点に対し、どのような改善策が必要か、対象者及び地域への価値について グループで検討
		予習	どのような提案ができるかを考えておくこと
		復習	グループで出された改善案を整理しておくこと
12	提案書作成 1	授業内容	提案書（プレゼンシート）作成方法、グループワーク、グループでの提案書作成 1
		予習	提案のストーリーラインイメージを作っておくこと
		復習	作成したものを確認し、PCで作成しておくこと
13	提案書作成 2	授業内容	グループで提案書作成 2（詳細作成）
		予習	提案書を肉付けするイメージを作っておくこと
		復習	提案書を PC で作成しておくこと
14	提案書作成 3	授業内容	グループで提案書作成 3（詳細作成と完成）、プレゼンテーション（発表）準備
		予習	改善案を完成させるイメージを作っておくこと
		復習	提案書を PC で完成させておくこと
15	プレゼンテ ーション	授業内容	グループでコンテスト形式でプレゼンテーション、評価、講評
		予習	プレゼンテーションの分担及び発表準備をしておくこと
		復習	プレゼンテーションの反省と他メンバーからのフィードバックを整理し、全授業を 振り返ること

評価法基準	<p>評価法：グループでのプレゼンシート 50%、プレゼンテーション 30%、口頭発表 20%</p> <p>基準：プレゼンシートは、街の観光施設等への集客において、想定した困り事のある訪問客及び地域への提供価値、施設等の課題への改善提案をするものとし、その内容を評価。プレゼンテーションは、各自の伝える力を評価する。評価基準は授業初回時に明示する。</p> <p>フィードバック：講義、フィールドワーク等での疑問点は、随時、全体に向けてフィードバックを行う</p>
教科書	なし（配布資料）
参考書	なし
履修上の注意	ユニバーサルツーリズムと外出支援 I を履修していることが前提
オフィスアワー	<p>火曜日（12:10～12:50）、4-5 研究室</p> <p>金曜日（12:10～12:50）、4-5 研究室</p>



科目名	手話による聴覚障害者とのコミュニケーションⅠ	担当教員	有菌 暢子		
実務経験	20年近く手話通訳士として聴覚障害者の福祉に携わり、日常生活、社会生活等で聴覚障害者の社会に参加する権利を守る手話通訳活動を行ってきました。聴覚障害者が通訳を必要とする場面は医療・教育・労働・スポーツなど皆さんの生活と同じく様々です。様々な場面での通訳経験を活かし、皆さんが実習や職場で聴覚障害者と接した時に障害を理解し、相手に合ったコミュニケーションを取ることができるようなコミュニケーション方法を身につけていただきたいと思います。				
学科	理学療法学科	学年	2 学年		
学期	後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	手話とは日本語とは異なる独自の文法・語彙体系を持った視覚言語であり、聴覚障害者とのコミュニケーションツールの一つである。手話をはじめとするさまざまなコミュニケーションを持つ聴覚障害者についての学習（障害について、コミュニケーション方法、暮らし、置かれている社会状況など）を通して、聴覚障害に関する基礎知識を理解することを目的とする。コミュニケーションの一つである手話であいさつや自己紹介程度の簡単な会話ができることを目指す。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聴覚障害に関する基礎知識を学び、障害を理解する。</li> <li>・あいさつや自己紹介程度の手話を表せるようにする。</li> </ul>

No.	テーマ		内容
1	聴覚障害	授業内容	聴覚障害とは、耳のしくみ
		予習	特になし
		復習	授業の内容をまとめておく
2	コミュニケーション	授業内容	聴覚障害者のコミュニケーション方法
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
3	手話	授業内容	手話とは（手話のなりたち、手話の特徴）
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
4	福祉制度	授業内容	障害福祉制度について
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
5	聴覚者の生活	授業内容	聴覚障害者の生活①【授業内課題有】
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
6	聴覚者の生活	授業内容	聴覚障害者の生活②
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく

7	聴障者の教育	授業内容	聴覚障害者の教育
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
8	聴障者の職業	授業内容	聴覚障害者の職業
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
9	聴障者の情報保障	授業内容	聴覚障害者の情報保障【授業内課題有】
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
10	表現してみよう	授業内容	コミュニケーション I で習った手話を表現する
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	習った単語を確認しておく
11	聴障者の医療	授業内容	聴覚障害者の医療①
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
12	聴障者の医療	授業内容	聴覚障害者の医療②【授業内課題有】
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
13	聴障者の社会	授業内容	聴覚障害者の社会
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
14	災害	授業内容	聴覚障害者と災害【授業内課題有】
		予習	プリントや参考図書をみておく
		復習	授業の内容をまとめておく
15	まとめ	授業内容	まとめ
		予習	今までの授業内容をまとめておく
		復習	授業の内容をまとめておく

評価法基準	定期試験 50%、授業内課題 50% 授業内課題については内容（感想や質問、自分の意見の有無、文章量などで理解度や意欲をみる）と提出回数を評価する。
教科書	なし。講師作成のプリントを使用する。
参考書	「手話を学ぼう 手話で話そう」 厚生労働省手話奉仕員養成テキスト 発行：社会福祉法人全国手話研修センター 発売：一般財団法人全日本ろうあ連盟 随時参考図書を案内する。
履修上の注意	授業への積極的な参加を求めます。
オフィスアワー	火曜（12:10～12:50）、6-7 研究室

科目名	手話による聴覚障害者とのコミュニケーションⅡ	担当教員	有菌 暢子		
実務経験	20年近く手話通訳士として聴覚障害者の福祉に携わり、日常生活、社会生活等で聴覚障害者の社会に参加する権利を守る手話通訳活動を行ってきました。聴覚障害者が通訳を必要とする場面は医療・教育・労働・スポーツなど皆さんの生活と同じく様々です。様々な場面での通訳経験を活かし、皆さんが実習や職場で聴覚障害者と接した時に障害を理解し、相手に合ったコミュニケーションを取ることができるようなコミュニケーション方法を身につけていただきたいと思います。				
学科	理学療法学科	学年	3 学年		
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	実技
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	手話とは日本語とは異なる独自の文法・語彙体系を持った視覚言語であり、聴覚障害者とのコミュニケーションツールの一つである。手話をはじめとするさまざまな聴覚障害者とのコミュニケーション方法を学び、手話で日常会話ができることを目指す。また学んだ手話を活かして療法実践の場で活用できるようにする。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日常会話程度の手話を自分で表すことができ、相手の表していることがわかる。</li> <li>・ 療法実践の場で活用できる手話を習得する。</li> </ul>

No.	テーマ		内容
1	自己紹介	授業内容	自己紹介の手話（指文字・名前・数詞・家族）
		予習	コミュニケーションⅠで配布したプリントを見ておく
		復習	習った単語を確認しておく
2	自己紹介	授業内容	自己紹介の手話（趣味・仕事・住所・県名）
		予習	プリントを見ておく
		復習	習った単語を確認しておく
3	時制	授業内容	時の表し方（日・月・年）の手話
		予習	プリントを見ておく
		復習	習った単語を確認しておく
4	疑問詞	授業内容	疑問詞（いつ、誰など）の手話
		予習	プリントを見ておく
		復習	習った単語を確認しておく
5	日常生活	授業内容	日常生活での手話①
		予習	プリントを見ておく
		復習	習った単語を確認しておく
6	日常生活	授業内容	日常生活での手話②
		予習	プリントを見ておく
		復習	習った単語を確認しておく

7	日常生活	授業内容	旅行場面での手話
		予習	プリントを見ておく
		復習	習った単語を確認しておく
8	日常生活	授業内容	教育場面での手話
		予習	プリントを見ておく
		復習	習った単語を確認しておく
9	日常生活	授業内容	職業場面での手話
		予習	プリントを見ておく
		復習	習った単語を確認しておく
10	日常生活	授業内容	医療場面での手話
		予習	プリントを見ておく
		復習	習った単語を確認しておく
11	理学療法場面	授業内容	理学療法場面での手話①
		予習	今までの授業の振り返りをしておく
		復習	習った単語を確認しておく
12	理学療法場面	授業内容	理学療法場面での手話②
		予習	今までの授業の振り返りをしておく
		復習	習った単語を確認しておく
13	理学療法場面	授業内容	理学療法場面での手話③
		予習	今までの授業の振り返りをしておく
		復習	習った単語を確認しておく
14	理学療法場面	授業内容	理学療法場面での手話④
		予習	今までの授業の振り返りをしておく
		復習	習った単語を確認しておく
15	まとめ	授業内容	まとめ
		予習	今までの授業の振り返りをしておく
		復習	授業の内容をまとめておく

評価法基準	定期試験 50%、授業内小テスト及び講師からの設問 50% 手話表現の正確さ、コミュニケーションに必要な表現力、表現練習に取り組む意欲・姿勢と手話の読み取り理解力を評価する。講師からの設問に対する回答回数、内容も評価に含む。
教科書	なし。講師作成のプリントを使用する。
参考書	厚生労働省手話奉仕員養成テキスト「手話を学ぼう 手話で話そう」 発行：社会福祉法人全国手話研修センター 発売：一般財団法人全日本ろうあ連盟

履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"><li>・この授業は「手話による聴覚障害者とのコミュニケーションⅠ」における学習内容を基にするため、コミュニケーションⅠの単位を取得していることが前提です。</li><li>・授業への積極的な参加を求めます。</li></ul>
オフィスアワー	火曜（12:10～12:50）、6・7 研究室

科目名	実務リーダーのための経営戦略論	担当教員	江幡 真史		
実務経験	2000年より20年間に亘り、複数の一部上場企業の(代表)取締役として経営に携わりました。そこで大切にしてきたのは「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」という近江商人の「三方よし」の心得です。実務リーダーとは、コミュニティ(狭義には所属する組織、広義には地域社会)で「三方よし」の精神をもって、自身のもつ資源(人、モノ、金、情報)を効果的に配分できる人です。講義を通じ、そのための基礎的能力を体得しましょう。				
学科	理学療法学科	学年	1 学年		
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	経営戦略の基本概念を、経営理念と経営ビジョンとの関係を交えて理解する。事業別戦略や機能分野別戦略について、各分野の実務家講師による事例を扱った講義と意見交換を通じ、実践的に理解をする。保健医療に関する事例も取り上げる。グループワークや発表を通じて、将来を主体的に構想し、その実現に向けて関係者の協力を形成する基礎的な能力を養う。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>①戦略と戦術の違いを具体的に説明できる</li> <li>②ビジネスフレームワークを使って現状分析ができる</li> <li>③マネジメントとリーダーシップの関係を説明できる</li> <li>④自身の将来を構想し、その内容を発表できる</li> </ul>

No.	テーマ		内容
1	経営とは	授業内容	経営理念、ビジョン、ゴール、経営資源
		予習	テキストの該当部に目を通しておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
2	戦略とは	授業内容	会社戦略と機能別戦略
		予習	テキストの該当部に目を通しておくこと
		復習	演習内容をまとめておくこと
3	ビジネスフレームワーク①	授業内容	5フォース分析
		予習	テキストの該当部に目を通しておくこと
		復習	演習内容をまとめておくこと
4	ビジネスフレームワーク②	授業内容	3C 分析と SWOT 分析
		予習	テキストの該当部に目を通しておくこと
		復習	演習内容をまとめておくこと
5	ビジネスフレームワーク③	授業内容	STP と 4P
		予習	身近な商品ブランドが対象とする消費者は誰かを考えておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
6	通信と輸送	授業内容	流通と生産の過程における革命
		予習	総務省 HP 掲載の平成 30 年版『情報通信白書のポイント』に目を通すこと
		復習	授業内容をまとめておくこと

7	情報技術	授業内容	情報技術の進展
		予習	IOTについて調べておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
8	保健医療	授業内容	保健医療業界の付加価値戦略
		予習	保健医療における新事業・新サービスについて調べておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
9	ケース (IT業界)	授業内容	IT業界を代表する経営者の経営理念とゴール
		予習	IT業界を代表する経営者についての情報に目を通しておく
		復習	授業内容をまとめておくこと
10	ケース(運輸業界)	授業内容	運輸業界を代表する経営者の経営理念とゴール
		予習	運輸業界を代表する経営者についての情報に目を通しておく
		復習	授業内容をまとめておくこと
11	ケース(保健医療業界)	授業内容	保健医療業界を代表する経営者の経営理念とゴール
		予習	保健医療業界を代表する経営者についての情報に目を通しておく
		復習	授業内容をまとめておくこと
12	起業とは	授業内容	スタートアップを成功に導く
		予習	日本人の起業家の名前を5人リストアップすること
		復習	授業内容をまとめておくこと
13	リーダーシップ	授業内容	マネジメントとリーダーシップの違い
		予習	リーダーシップについて、自分の考えをまとめておくこと
		復習	演習内容をまとめておくこと
14	プレゼンテーション①	授業内容	自身の将来設計とその戦略を発表する
		予習	3分間のプレゼンテーションをスライドショーにまとめる
		復習	プレゼンテーションを振り返り、内容を深める
15	プレゼンテーション②	授業内容	自身の将来設計とその戦略を発表する
		予習	3分間のプレゼンテーションをスライドショーにまとめる
		復習	プレゼンテーションを振り返り、内容を深める

評価法基準	定期試験 40%、授業内プレゼンテーション 40%、課題レポート 20%
教科書	「経営戦略の基本」(株)日本総合研究所経営戦略研究会、日本実業出版社、2008年11月
参考書	なし
履修上の注意	基本となる知識を学び、それを使って考えることを繰り返します。事前学習に取り組み、授業で積極的に発言することで、理解が深まります。さらに、ほかの学生の意見を傾聴し、自分と違う考えを知ることで、応用力が身に付きます。
オフィスアワー	水曜(12:10~12:50)、4-2 研究室 木曜(12:10~12:50)、4-2 研究室

科目名	組織・人材マネジメントの理論と実践		担当教員	片岡 幸彦	
学科	理学療法学科		学年	1 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>人材の持つ潜在能力を引き出し発揮させる仕掛けやしぐみは重要な経営の要素である。</p> <p>本科目では、組織を一から創って行く時に必要な考え方を時系列に学ぶことによって、組織および人材マネジメントの考え方を理解できるようにカリキュラムを組んでいる。</p> <p>また人が成長し活力ある組織にするために良い組織の要件の理解から始まって、組織のあり方、組織の創り方や組織と人を主体的に動かすマネジメントのあり方、そして人材のマネジメントの仕方とともに、保健医療の組織についても学ぶ。</p>
到達目標	<p>① 将来自分が勤めたい会社について、組織と人材の面から分析出来る</p> <p>② 組織を一から創る時の考え方やしぐみ、方法論が理解できる</p> <p>③ 人が主体的に活動するためのしぐみが理解でき、実際に実践するポイントが理解できる</p>

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	組織と人材マネジメントの目的、範囲、授業の概要説明
		予習	組織って何だろう？良い組織の要件を？考える
		復習	組織があることで良かったこと、悪かったことを周りの人に聞く
2	組織を創る 1	授業内容	組織の共通目的（経営理念、ビジョン、バリュー）に関する講義
		予習	経営理念について調べてくる良い組織とはどのような組織か考える
		復習	身近な例で組織の目的は何か考える
3	組織を創る 2	授業内容	組織の形や組織のシステム（制度・ルール）をつくることに関する講義
		予習	組織図とは何か、組織にはどのような制度・規則・ルールがあるかを調べる
		復習	希望する職種の組織図を調べる
4	組織を創る 3	授業内容	企業の顧客提供価値に関する講義
		予習	どのような企業（お店・サービス、商品等）であれば何度も利用したいと思うか
		復習	再度、自分の気に入った商品・サービスの意味を考える。
5	組織を創る 4	授業内容	個人や組織の文化、背景の違いによる考え方の違いに関する講義
		予習	組織文化とは何か身近な例を探す
		復習	自分の所属する組織の文化風土を見つける
6	組織と人材 を動かす 1	授業内容	マネジメントとは何か：リーダーの役割・行動に関する講義
		予習	自分がメンバーを動かす時にどのようなことをしているか考える
		復習	自分は対人関係においてどのようなパワーを持っているかを考える
7	組織と人材 を動かす 2	授業内容	リーダーとしての意思決定に関する講義
		予習	何かを決める時に迷ったケースを考える
		復習	学んだことを活用する



8	組織と人材を動かす 3	授業内容	メンバーの動機づけ（モチベーションの源泉）に関する講義
		予習	自分はどんな時、何があるとやる気が出るか考える
		復習	学んだことを活用する
9	組織と人材を動かす 4	授業内容	メンバーとうまくいかなかった時の葛藤処理に関する講義
		予習	友達とぶつかった時、どんなことでどのようにぶつかったか考える
		復習	友達とぶつかった時に自分はどのような行動をとりがちか考える
10	人材をマネジメントする 1	授業内容	人事システムの全体像に関する講義
		予習	人事制度とは何か調べる
		復習	人事制度の具体的内容を身近な人に聞く
11	人材をマネジメントする 2	授業内容	仕事の評価と報酬のポイントに関する講義
		予習	自分はどのような評価をされると元気が出るか考える
		復習	具体的な内容を知り合いに聞いてみる
12	人材をマネジメントする 3	授業内容	人材の採用・教育・活用に関する講義
		予習	自分はどのような教育をされるとうれしいか考える
		復習	具体的な内容を知り合いに聞く
13	人材をマネジメントする 4	授業内容	学習と成長に関する講義
		予習	自分が成長したなど感じる時はどんな時か考える
		復習	継続的に学習するための方法を考える
14	保健医療の組織論 1	授業内容	医療機関における組織の課題と取り組みに関する講義
		予習	保健医療の組織の課題はどのようなものがあるか考える
		復習	保健医療の組織の課題を整理する
15	保健医療の組織論 2	授業内容	保健医療分野に求められる人材、組織形態、チーム医療に関する講義
		予習	これまで学んだ一般的な組織と保健医療分野の組織の違いについて考える
		復習	保健医療分野の組織の特徴を整理する

評価法基準	定期試験 55%、授業内課題レポート 45%
教科書	教科書はなし。毎回レジュメで対応する。
参考書	「人材マネジメント入門」日経文庫 守島基博著 日本経済新聞社 「組織行動のマネジメント」スティーブ P.ロビンズ（翻訳）高木 晴夫 ダイヤモンド社 「経営組織」日経文庫 金井寿宏著 日本経済新聞社 「経済産業省サービス産業人材育成事業 医療経営人材育成テキスト[Ver.1.0] 組織管理」
履修上の注意	クラス討議に貢献すること。 予習がクラス討議の質を高める。必ず予習をしてくること。 授業で学ぶのみならず、自分の所属する組織や自分のことを照らし合わせて考えること。
オフィスアワー	木曜（14:40～16:10）、4-4 研究室

科目名	実践マーケティング戦略		担当教員	宮地 恵美子	
学科	理学療法学科		学年	2 学年	
学期	前期	必修 / 選択	必修	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	顧客のニーズを理解し、顧客に対しどのような価値を提供すべきかを考えることは、企業活動の基本であるだけでなく、社会的組織においても重要である。本科目では、マーケティングの基本的な考え方から、各種のフレームワーク、理論、調査分析手法を学ぶことにより、顧客のニーズを把握し、事業や商品サービス開発につなげるための知識を身に着ける。保健医療分野とともに、保健医療分野に親和性の深いサービス業におけるマーケティングについても、考え方と事例・演習により学ぶ。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 企業や組織の活動におけるマーケティングの意味や役割を理解する</li> <li>・ 顧客への提供価値、消費者の消費購買の意思決定プロセスを理解する</li> <li>・ マーケティングミックスと主要なフレームワークについて説明できる</li> <li>・ マーケティング調査の手法について理解する</li> </ul>

No.	テーマ		内容
1	マーケティングとはなにか	授業内容	授業の進め方、予習方法、成績評価の方法について説明する マーケティングの定義、用語、企業・社会活動における役割について
		予習	授業で取り上げるテーマについて、関連する参考書等で確認する
		復習	マーケティングの用語、定義や役割について理解できているか確認する
2	マーケティング・マネジメント・プロセス	授業内容	マーケティング活動の進め方について解説する
		予習	前回の授業内容を確認しておく
		復習	マーケティング・マネジメント・プロセスを理解できているか確認する
3	ターゲットとセグメンテーション	授業内容	マーケティング戦略を考えるうえで基本となるターゲットとセグメンテーション、顧客への提供価値について解説する
		予習	前回までの授業内容を確認しておく
		復習	ターゲットとセグメンテーションについて理解できているか確認する
4	差別化戦略とポジショニング	授業内容	マーケティングの基本である他者との差別化・ポジショニングについて
		予習	前回までの授業内容を確認しておく
		復習	差別化・ポジショニングについて理解できているか確認する
5	マーケティングミックス	授業内容	マーケティングミックスを構成する 4 P (Product, Price, Place, Promotion) の内容とそれぞれの戦略について解説する
		予習	前回までの授業内容を確認しておく
		復習	4 P とマーケティングフレームワークについて理解できているか確認する

6	消費者特性 と意思決定 プロセス	授業内容	消費者の特性、購買行動の意思決定プロセスについて解説する
		予習	前回までの授業内容を確認しておく
		復習	消費者特性と購買の意思決定プロセスについて理解できているか確認する
7	マーケティ ングリサー チ	授業内容	マーケティングリサーチに用いられる定量調査、定性調査の内容と具体的な手法について解説し、演習を行う
		予習	前回までの授業内容を確認しておく
		復習	各種の調査手法について、理解できているか確認する
8	競合他社分 析	授業内容	競合他社分析の目的、方法について解説し、分析演習を行う
		予習	前回までの授業内容を確認しておく
		復習	競合分析の考え方・分析方法について、理解できているか確認する
9	エリアマー ケティング	授業内容	エリアマーケティングの考え方について解説、商圈調査や事例を紹介し、エリアマーケティングの演習を行う
		予習	前回までの授業内容を確認しておく
		復習	エリアマーケティングの考え方について理解できているか確認する
10	ブランドと は	授業内容	ブランドの構成要素、意義や役割、ブランド・エクイティについて説明する
		予習	前回までの授業内容を確認しておく
		復習	ブランドの特性や意義について理解できているか確認する
11	サービスマ ーケティン グ	授業内容	サービス業でのマーケティングの考え方について解説し、事例を紹介する
		予習	前回までの授業内容を確認しサービス業でのマーケティングとは何かを考えておく
		復習	サービス業のマーケティングの考え方について理解できているか確認する
12	保健医療マ ーケティン グ	授業内容	保健医療分野でのマーケティングの考え方について解説、事例を紹介し、演習を行う
		予習	前回までの授業内容を確認し保健医療部門でのマーケティングとは何かを考えておく
		復習	公共部門のマーケティングについて理解できているか確認する
13	ケーススタ ディ①	授業内容	保健医療分野でのマーケティング・分析手法の解説と商品開発事例を紹介し、演習を行う
		予習	これまでの授業内容を確認し、ディスカッション材料となる企業や商品を考えておく
		復習	授業で取り上げた事例のポイントの整理を行う
14	ケーススタ ディ②	授業内容	これまで学んだ手法を用い、保健医療分野でのマーケティング事例の分析演習を行う。
		予習	これまでの授業内容を確認し、保健医療分野でのマーケティング活動について考えておく
		復習	授業で取り上げた事例のポイントの整理を行う

15	まとめ	授業内容	前回授業でまとめた事例分析の結果発表を行い、事例分析の対象となった企業の講師（ゲストスピーカー）により講演を行う
		予習	これまでの授業のポイントを復習し、事例分析結果発表の準備をしておく
		復習	マーケティングの考え方を一通り理解できているか確認する
評価法基準	期末レポート：50%、授業内で行う小テスト：30%、授業内で行う演習課題：20%		
教科書	独自に作成したパワーポイントのテキストにより説明を行う。		
参考書	<p>「消費者行動の知識（日経文庫）」（青木幸弘）、「マーケティング（日経文庫）」（恩蔵直人）、「ブランド—価値の創造（岩波新書）」（石井 淳蔵）</p> <p>「コトラーのマーケティング・コンセプト」（フィリップ・コトラー）「ブランド優位の戦略—顧客を創造する BI の開発と実践」（デービッド・A・アーカー）、「改訂 3 版 グロービス MBA マーケティング」（グロービス経営大学院）</p> <p>その他、授業で紹介していく。</p>		
履修上の注意	<p>教科書はないが、参考書を活用することが望ましい。</p> <p>授業では、講義のほか、ケーススタディをディスカッションで検討する。口に出して説明することで内容が整理でき、理解が深まることから、積極的にディスカッションにも参加すること。</p>		
オフィスアワー	質問は授業の前後で受付ける		

科目名	保健医療経営 I		担当教員	松村 眞吾	
学科	理学療法学科		学年	2 学年	
学期	後期	必修 / 選択	必修	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	<p>急激に進行しつつある超高齢化、人口減少社会にあつて、保健医療分野の役割が重要化しつつある。また、膨らむ医療費・介護費の問題、医師不足など人的資源の問題、情報資源活用等、新型コロナウイルス感染症などの新興感染症対策などの問題・課題が山積している。本講義では、保健医療の経営を考えるうえで根幹となる介護報酬（社会報酬）や診療報酬等制度の仕組みを中心に解説する。保健医療経営の事業構造を経営主体別に学び、介護経営、病院経営等のソリューション（問題解決）に役立つ人材育成を目指す。</p>
到達目標	<p>① 介護報酬(社会報酬)、診療報酬、地域福祉計画(社会福祉増進計画)、医療計画等の制度が理解できる。</p> <p>② 介護経営、病院経営、社会福祉法人経営、在宅医療・介護サービス経営について知見を得る。</p> <p>③ 現状と将来課題を理解し、保健医療のあり方について一定の見解を持てるようになる。</p> <p>④ 現場において具体的なソリューションを考え、仲間と実践できるスキルを持つ。</p>

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	講義の進め方について説明
		予習	2 年前期までの学習を振り返って保健医療経営の問題を具体的に考えておくこと
		復習	授業内容をまとめておくこと
2	保健医療を取り巻く状況	授業内容	現代日本の保健医療経営の状況を解説して問題課題を提起。討論も行う。
		予習	前回内容を振り返っておくこと
		復習	重要な問題課題は何かを考えておくこと
3	組織マネジメント	授業内容	保健医療における組織の特性とマネジメントについて考察
		予習	2 年前期までに学んだ関係授業を振り返っておくこと
		復習	医療福祉経営における特性を踏まえ、授業内容をまとめておくこと
4	品質マネジメント	授業内容	保健医療の品質とは何か、また品質管理について考察
		予習	2 年前期までに学んだ関係授業を振り返り、かつ自分なりに考えておくこと
		復習	保健医療の質の質とは何かを考え、その向上策を、まとめておくこと
5	戦略マネジメント	授業内容	保健医療における事業戦略について考察
		予習	2 年前期までに学んだ関係授業及び 3 回 4 回授業を振り返っておくこと
		復習	保健医療における戦略とは何かを考え、何が必要かをまとめておくこと
6	病院経営の実際	授業内容	病院経営の事業構造・収益構造について説明し、具体的事例を挙げて説明し考察
		予習	前回までの授業から病院経営のことをまとめておくこと
		復習	具体的に日本の病院経営の問題を考えておくこと
7	介護経営の実際	授業内容	介護経営の事業構造・収益構造について説明し、具体的事例を挙げて説明し考察
		予習	前回までの授業から介護経営のことをまとめておくこと
		復習	具体的に日本の介護経営の問題を考えておくこと

8	社会福祉法人の経営	授業内容	重要化する社会福祉法人改革を踏まえ、事業構造・収益構造について説明し、その経営の在り方を講義
		予習	2年前期までに学んだ関係授業を振り返っておくこと
		復習	福祉経営の柱をなす社会福祉法人の存在意義、経営をまとめておくこと
9	在宅医療・介護サービス経営	授業内容	在宅療養が推進される。在宅でのサービスにおける事業構造・収益構造を講義し、考察
		予習	2年次前期までに学んだ関係授業を振り返っておくこと
		復習	在宅でのサービスの在り方、問題を考えておくこと
10	医療政策・診療報酬1	授業内容	診療報酬を中心に日本の医療制度・政策を講義
		予習	前回までの授業を中心に学んだことをまとめておくこと
		復習	日本の医療制度・政策の方向性をまとめておくこと
11	医療政策・診療報酬2	授業内容	医療計画などを参考に診療報酬の変遷と今後を講義
		予習	前回までの授業を中心に学んだことをまとめておくこと
		復習	診療報酬を中心とする制度政策の方向性をまとめておくこと
12	福祉政策1	授業内容	福祉の歴史を踏まえ、介護報酬（社会報酬）、福祉制度・政策を講義
		予習	前回までの授業を中心に学んだことをまとめておくこと
		復習	日本の福祉政策の方向性をまとめておくこと
13	福祉政策2	授業内容	福祉の歴史を踏まえ、地域福祉計画等（社会福祉増進計画）福祉制度・政策を講義
		予習	前回までの授業を中心に学んだことをまとめておくこと
		復習	日本の福祉政策の方向性をまとめておくこと
14	医療事例研究	授業内容	病院経営における成功（または失敗事例）を紹介し、問題提起と議論
		予習	前回までの授業内容の内、病院経営関係をまとめておくこと
		復習	事例から医療経営のあり方を考え、まとめておくこと
15	福祉事例研究	授業内容	介護経営における成功（または失敗事例）を紹介し、問題提起と議論
		予習	前回までの授業内容の内、介護経営をまとめておくこと
		復習	事例から介護経営のあり方を考え、まとめておくこと

評価法基準	定期試験中心に評価する。中間レポートは加点評価とする。 定期試験ならびにレポートは理解度を中心に自分の意見の有無と内容を評価する。
教科書	テキストは随時、配布または告知する。 具体的なトピックス紹介を考えているので、時々新聞・雑誌・ネット記事なども用いる予定。
参考書	なし
履修上の注意	保健医療関係のニュース、トピックスに注意して欲しい。日常生活には関係のない世界の経営がテーマであるので言葉などが難しい場合がある。事後学習は、問題の中心、課題解決のポイントを確認するように。
オフィスアワー	質問等は授業の前後、UNIPAにて受け付ける。

科目名	保健医療経営Ⅱ		担当教員	田中 智恵子	
学科	理学療法学科		学年	3 学年	
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	1 単位	時間数	15 時間	回数	8 回

授業概要	保健医療経営Ⅰを踏まえ本科目では、各分野の経営（病院、介護、社会福祉法人、在宅サービス）をヒト、モノ、カネ、情報から捉え、そのマネジメント手法を解説する。具体的には、病院、介護、社会福祉法人、在宅サービス等を実践している施設のケースを通し、業務改善、経営改善手法を学び、診療報酬、介護報酬（社会報酬）、地域福祉計画（社会福祉増進計画）、医療計画等についてより実践的に学ぶ。また、起業した人材や会社の事例から、保健医療領域での現場改善や起業のニーズ、シーズの活かし方を深める。
到達目標	<p>① 病院、介護、社会福祉法人、在宅サービスの経営の具体的事例を学び、経営課題と改善の方向性を考える</p> <p>② ヒト、モノ、カネ、情報の視点から、医療福祉の現状を鑑み、課題の抽出と改善の方向性を考える</p> <p>③ 職業人として、経営にどのように貢献するかを考える</p>

No.	テーマ		内容
1	保健医療制度の変化	授業内容	保健医療分野の制度、サービスの変化と課題認識
		予習	これまで学んだ保健医療分野の制度の変遷をまとめておく
		復習	医療福祉分野の現状から課題を抽出し今後の方向性をまとめる
2	医療制度と診療報酬	授業内容	医療保険制度と診療報酬の変化が病院経営に与える影響
		予習	保健医療経営Ⅰで学んだ制度と診療報酬制度を見直しておく
		復習	制度、診療報酬、病院経営の関連をまとめる
3	病院経営の現状と課題	授業内容	疾病構造変化、収益構造変化が病院経営に与える影響
		予習	疾病構造の変化、病院の収益について学んだことを振り返っておく
		復習	疾病構造変化が病院経営に与える影響をまとめる
4	介護施設の経営の現状と課題	授業内容	疾病構造変化、収益構造変化が介護施設経営に与える影響
		予習	疾病構造の変化、介護施設の収益について学んだことを振り返っておく
		復習	疾病構造変化が介護施設経営に与える影響をまとめる
5	サービスの質の課題	授業内容	医療サービスの質とサービスの変化と今後の課題
		予習	経験した医療サービスについて課題をまとめておく
		復習	医療サービスの質の改善に必要な <b>key success factors</b> をまとめる
6	人的資源の課題	授業内容	医療福祉サービスに関わる人的資源の現状と課題
		予習	医療職、介護職の種類と役割をまとめておく
		復習	医療職、介護職が生き生きと働く <b>key success factors</b> をまとめる
7	ケーススタディ	授業内容	病院、クリニック経営のケーススタディ
		予習	これまでの授業を振り返っておく
		復習	ケーススタディから自分の役割を省察する

8	ケーススタディ	授業内容	介護施設の経営のケーススタディ
		予習	これまでの授業を振り返っておく
		復習	ケーススタディから自分の役割を省察する
評価法基準	定期試験 70%、グループディスカッション 30%の割合で評価する。 定期試験ならびにグループディスカッションは理解度を中心に自分の意見の有無と内容を評価する。		
教科書	テキストは随時、配布または告知する		
参考書	テキストは随時、配布または告知する		
履修上の注意	これまで得た制度、診療報酬、人材マネジメント、質、サービスに関する知識を統合し。経営のあり方、職業人としてのあり方を常に考察していく姿勢を忘れないこと。		
オフィスアワー	質問等は授業の前後に受け付ける。		



科目名	実務リーダーのための財務会計 I	担当教員	原田 佳明		
実務経験	<p>昭和 63 年 1 2 月税理士試験合格、平成 3 年 8 月税理士登録</p> <p>大学卒業後 信用金庫に 2 年勤務後 大原簿記学校において税理士試験勉強に専念。</p> <p>昭和 6 3 年大手会計事務所に就職、1 7 年勤務後、平成 1 7 年 7 月永和総合事務所設立し 代表税理士に就任、開業。</p> <p>大手会計事務所勤務時から、学校法人敬心学園の決算を担当、指導してきました。また、関係法人の社会福祉法人敬心福祉会の設立から決算関与し、現在社外理事を務め、法人内外から、経営及び会計の指導しています。現在のクライアントには、病院及びクリニックもあり、様々な法人・個人を担当・指導しています。</p> <p>学生の皆様は、卒業後、学校・福祉法人・病院または一般の会社に就職をされることでしょう。やがて、管理職になられる人、はたまた、自分で開業される人がおられるでしょう。</p> <p>管理職になれば目標数値管理をしていかなければなりません。</p> <p>開業すれば、人の採用、家賃の支払い、利益の獲得にパワーを注ぐこととなります。</p> <p>その結果、財務会計・税務を知っているのと知らないので大きな差ができます。</p> <p>どの部署、どの会社に行かれても財務会計・税金はついてきます。</p> <p>私自身も、就職、管理職昇格、退社、独立開業の道を歩んできました。</p> <p>失敗したこと、成功したこと沢山あります。</p> <p>ぜひ、この経験をふまえ、財務会計の重要ポイントを皆さんに教えていければと思います。</p>				
学科	理学療法学科	学年	1 学年		
学期	後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	1 単位	時間数	15 時間	回数	8 回

授業概要	公表されている学校法人敬心学園及び上場会社の財務数値を題材に 会計的に重要な点や注意すべき点を理解する。また、財務会計だけではなく、将来 就職、管理職、独立開業した時に備え、必要な税務知識も理解する。
到達目標	<p>① 財務会計を理解するために 財務諸表に記載されている科目、金額 記載ルールを理解できるようになる</p> <p>② 簡単な簿記の仕訳を理解する</p> <p>③ 税金の種類を理解する</p>

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	<p>財務諸表とは。</p> <p>財務諸表の役割。</p> <p>敬心学園の財務諸表を見てみよう。</p> <p>貸借対象表と損益計算書のつながりと役割</p>
		予習	財務諸表を調べる
		復習	敬心学園の財務諸表のポイントの確認

2	貸借対照表の解説①	授業内容	貸借対照表にはどんなものが表されているの？ 資産項目とは
		予習	資産項目にはどんなものがあるか
		復習	貸借対照表の勘定科目の確認
3	貸借対照表の解説②	授業内容	固定資産とは 減価償却の計算 負債・資本とは <u>利益はどこに表されるの？</u>
		予習	負債・資本項目にはどんなものがあるか
		復習	貸借対照表の勘定科目の確認
4	損益計算書の解説①	授業内容	<u>どのようなものが収入及び経費なるの？</u> 売上原価とは？ 棚卸資産の評価で利益金額が変わる？
		予習	損益項目にどんなものがあるか
		復習	損益計算書の勘定科目の確認
5	財務諸表周りの解説	授業内容	株主資本等変動計算書や注記もあります。 注記の役割 株主の権利 会社とは？
		予習	注記にはどんなものがあるか
		復習	財務諸表以外の事項の確認
6	税金の概要	授業内容	会社の税金と個人の税金 法人税、所得税、消費税 国が集める税金はいくらあるの？
		予習	税金の種類
		復習	国税、地方税の違いの確認
7	税務申告①	授業内容	会社の税務申告、個人の確定申告の計算の仕方 <u>税金はいつ払うの？</u>
		予習	確定申告とは
		復習	税負担率の違い
8	税務申告②	授業内容	消費税 消費税がかかるもの、かからないもの 消費税は、いつ払うの？
		予習	消費税の概略
		復習	消費税の課税非課税の確認

評価法基準	授業内ミニ確認テスト 40%、定期試験 60% 基準：授業を通じて 最低限の勘定科目の暗記度の確認
教科書	なし

参考書	「改訂4版 決算書入門の入門」税務研究会出版局…購入しなくてもよい
履修上の注意	まず、自分の学校の財務内容を理解して、自分が将来もらうであろう給料に対する税金の負担を認識する また、将来、独立開業した場合の会計・税金を認識する
オフィスアワー	質問等は授業の前後に受け付ける。

科目名	実務リーダーのための財務会計Ⅱ	担当教員	原田 佳明		
実務経験	<p>昭和 63 年 12 月税理士試験合格、平成 3 年 8 月税理士登録</p> <p>大学卒業後 信用金庫に 2 年勤務後 大原簿記学校において税理士試験勉強に専念。</p> <p>昭和 63 年大手会計事務所に就職、17 年勤務後、平成 17 年 7 月永和総合事務所設立 代表税理士に就任、開業。</p> <p>大手会計事務所勤務時から、学校法人敬心学園の決算を担当、指導してきました。また、関係法人の社会福祉法人敬心福祉会の設立から決算関与し、現在社外理事を務め、法人内外から、経営及び会計の指導しています。現在のクライアントには、病院及びクリニックもあり、様々な法人・個人を担当・指導しています。</p> <p>学生の皆様は、卒業後、学校・福祉法人・病院または一般の会社に就職をされることとでしょう。やがて、管理職になられる人、はたまた、自分で開業される人がおられるでしょう。</p> <p>管理職になれば目標数値管理をしていかなければなりません。</p> <p>開業すれば、人の採用、家賃の支払い、利益の獲得にパワーを注ぐこととなります。</p> <p>その結果、財務会計・税務を知っているのと知らないので大きな差がでできます。</p> <p>どの部署、どの会社に行かれても財務会計・税金はついてきます。</p> <p>私自身も、就職、管理職昇格、退社、独立開業の道を歩んできました。</p> <p>失敗したこと、成功したことなど沢山あります。</p> <p>ぜひ、この経験を元に、財務会計の重要ポイントを皆さんに教えていければと思います。</p> <p>そのためには、財務会計Ⅱでは、超簡単な財務諸表を皆さんと作成してみましよう。</p> <p>財務諸表は、どの会社でも同じルールですし、世界中の会計も同じですから。</p>				
学科	理学療法学科	学年	2 学年		
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	1 単位	時間数	15 時間	回数	8 回

授業概要	<p>財務会計の仕組みを理解し、実際に財務諸表を作成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 財務諸表科目を理解する</li> <li>2. 商売に応じた取引の仕訳を理解する</li> <li>3. 仕訳から試算表を作成する</li> <li>4. 試算表から、税金を組み入れ、財務諸表を作成する</li> </ol>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.物を売り買いした取引を、記録し、仕訳を起こし、試算表を作成する</li> <li>2.最終財務諸表を作成する</li> <li>3.作成した財務諸表のポイントを理解する</li> </ol>

No.	テーマ		内容
1	財務諸表の仕組みと仕訳	授業内容	<p>財務諸表とは。</p> <p>財務諸表の役割。</p> <p><u>敬心学園の財務諸表を見てみよう。</u></p> <p>貸借対象表と損益計算書のつながりと役割</p>
		予習	P 43 まで見てくる
		復習	主な勘定科目を覚える

2	仕訳の基本 ①	授業内容	仕訳のルール・基本
		予習	P 97 まで見てくる
		復習	仕訳の確認
3	仕訳の基本 ②	授業内容	資産・負債の仕訳
		予習	P 131 まで見てくる
		復習	仕訳の確認
4	帳簿の付け 方	授業内容	主要簿と補助簿 仕訳帳の書き方 総勘定元帳への転記 試算表の作成
		予習	P 155 まで見てくる
		復習	総勘定元帳への転記の確認
5	決算作業	授業内容	決算作業 決算手続きの流れ 売上原価・貸倒引当金・未使用品・減価償却費の計算等
		予習	P 179 まで見てくる
		復習	決算整理事項の確認
6	精算表の作 成	授業内容	清算表に勘定科目の残高を記入 清算表に決算修正を記入 損益計算書・貸借対照表欄に記入
		予習	P 197 まで見てくる
		復習	精算表への記入から損益計算書・貸借対照表作成までの流れ
7	財務諸表作 成①	授業内容	① 簿記 3 級程度の問題をポイントを説明しながら解く 取引から仕訳を起こす 仕訳から勘定への記入 勘定への記入から精算表の作成
		予習	仕訳→総勘定元帳→精算表の流れ
		復習	仕訳のチェックと貸借一致の確認
8	財務諸表作 成②	授業内容	② 簿記 3 級程度の問題をポイントを説明しながら解く 合計残高試算表を作成 税金の計算 税金の仕訳を記入 決算書を作成
		予習	合計試算表から決算書までの流れ
		復習	合計試算表から貸借対照表・損益計算書を作成
評価法基準	ミニ確認テスト (8 回×8 点) 64%、定期試験 36% 基準：授業を通じて 最低限の勘定科目の暗記度の確認		
教科書	なし		
参考書	「いちばんわかりやすいはじめての簿記入門」公認会計士、税理士 柴山政行著 成美堂出版 …購入しなくてよい		

履修上の注意	自分で財務諸表を作成する。 作成することにより、理論と実務を一致させる また、将来、独立開業した場合に作成する財務諸表のポイントを理解する できれば、簿記3級程度を理解する
オフィスアワー	質問等は、授業の前後に受け付ける。

科目名	ビジネスのための法律		担当教員	塩田 英治	
学科	理学療法学科		学年	2 学年	
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	1 単位	時間数	15 時間	回数	8 回

授業概要	就労した後は様々な法律問題に直面します。しかしながら、働き始めてしまうとビジネス関係の法令を効率よく学ぶ機会はなかなか得られません。本学で専門的実務を学ぶ間に、卒業後に進む可能性の高い分野に的を絞ってビジネス関連の法律の基礎を学んでいただくべく、複数の法令を題材として授業を行います。
到達目標	①ビジネスに関連する法律を分類できる ②実務に就いた際に将来関わるであろう行政手続について説明できる ③企業や団体に雇用される場合と、自ら起業し事業の経営に携わる場合の法律知識を比較できる ④雇用され、あるいは事業を営む際のリスクを予測できる

No.	テーマ		内容
1	ビジネス法 総論	授業内容	ビジネス分野に関わる法律全般について、制定されている法令の基礎を体系的に理解します
		予習	なし
		復習	授業開始時にプリントを配布しますので、これを使って、講義内容を復習してください
2	ビジネス法 各論	授業内容	医療・福祉分野の事業を行う際に必要となる行政手続（許可、認可、免許、届出など）について解説します
		予習	第1回の授業終了時に予習プリントを配布します
		復習	予習プリントでの回答を振り返って、講義内容に照らし合わせて復習してください
3	個人情報保 護（リスク 管理）	授業内容	個人情報を業務上扱う際のリスクと、個人情報の漏えいを回避するための方策について解説します
		予習	第2回の授業終了時に予習プリントを配布します
		復習	予習プリントでの回答を振り返って、講義内容に照らし合わせて復習してください
4	入管法（外 国人人材採 用・管理）	授業内容	日本で活動（滞在）する外国人のVISAについての基礎知識を習得し、外国籍の労働者を雇用する時のポイントについて学びます
		予習	第3回の授業終了時に予習プリントを配布します
		復習	予習プリントでの回答を振り返って、講義内容に照らし合わせて復習してください
5	法人化法	授業内容	「個人事業」と「組織としての事業」の違いと、組織の種類（会社、NPO法人等）について解説します
		予習	第4回の授業終了時に予習プリントを配布します
		復習	予習プリントでの回答を振り返って、講義内容に照らし合わせて復習してください
6	基礎法学	授業内容	日本の法体系、民法の契約総論、親族相続法、憲法等を実務に即した視点で解説
		予習	第5回の授業終了時に予習プリントを配布します
		復習	予習プリントでの回答を振り返って、講義内容に照らし合わせて復習してください

7	労働関係法	授業内容	雇用される側、雇用する側の双方の視点から労働関係法令の基礎を学びます
		予習	第6回の授業終了時に予習プリントを配布します
		復習	予習プリントでの回答を振り返って、講義内容に照らし合わせて復習してください
8	成年後見制度	授業内容	日本の成年後見制度について解説し、実社会のどのような場面でその制度が行かされているのかを具体的に学びます
		予習	第7回の授業終了時に予習プリントを配布します
		復習	予習プリントでの回答を振り返って、講義内容に照らし合わせて復習してください

評価法基準	最終回の講義終了後、各自で最も関心をもった回で学んだことについて、将来を見据えた視点でレポートを書いていただき採点し成績を評価します。
教科書	なし
参考書	なし
履修上の注意	社会人経験がない方は、自分が実社会に出た時を想定して知識の習得に励んでください。すでに社会人経験のある方は、講義の内容をこれまでのご自身が身を置いていた状況を回顧して現実に当てはめて理解を深めて下さい。
オフィスアワー	質問等は授業の前後に受け付ける。



科目名	ビジネスのための IT		担当教員	宮脇 啓透	
実務経験	実務家として主にシンクタンクのリサーチ・コンサルティング部門で情報通信関連企業や事業の IT 化を推進したい企業に対して経営戦略や ICT 事業戦略の立案業務を行ってきた。これらの経験を活かして医療・健康分野をはじめとした様々な分野で IT 活用による効果・課題等の実態を伝えるとともに、IT を活用したビジネスアイデアを練る力をつけるための教育を行う。				
学科	理学療法学科		学年	2 学年	
学期	前期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	1 単位	時間数	15 時間	回数	8 回

授業概要	情報技術 (IT) は一般企業にも行きわたり、ビジネスを組み立てる、実行するうえでも必須の要素となっている。IT がビジネスで活用されている身近な事例を教材として用い、ビジネスの具体的な場面で用いられている IT の用語や、医療・健康分野ではこういった目的で IT が活用されているか等を学習する。講義内では、本講義で学ぶ事例、いままでに情報関連の科目で学んだ知識を活用するためのディスカッションの機会を複数回設け、学習した事例をもとに IT を活用したビジネスアイデアを練る力を身につける。
到達目標	①ビジネスシーン (医療・健康分野含む各分野) で使う IT 用語を理解し説明することができる ②ビジネスシーン (医療・健康分野含む各分野) で活用されている最新の IT の仕組みを理解し説明することができる ③ビジネスシーン (医療・健康分野含む各分野) で IT を活用するアイデアに適用できる

No.	テーマ		内容
1	ビジネスのための IT 基礎	授業内容	ビジネスシーンにおける IT の活用事例および今後の発展性についての全体像を理解する。
		予習	今まで学んだ IT の知識の復習を行う。(30 分)
		復習	最終課題レポートの概要を説明するので最終課題レポートに向けた準備を行う。(30 分)
2	IoT	授業内容	IoT の仕組みやビジネスを取り巻く環境・事例について理解する。
		予習	身の回りにあるインターネットに繋がった機器の確認を行う。(30 分)
		復習	講義内容に出た IT・事例を整理しまとめておく。(30 分)
3	IoT	授業内容	前回に続き IoT の仕組みやビジネスを取り巻く環境・事例について理解し、活用シーンのアイデアを練る。
		予習	IoT の活用シーンを考える。(60 分)
		復習	自分で考えた活用シーンのアイデアを整理しまとめておく。(60 分)
4	ビッグデータ	授業内容	ビッグデータの仕組みやビジネスを取り巻く環境・事例について理解する。
		予習	身の回りにあるビッグデータが活用されているサービスの確認を行う。(30 分)
		復習	講義内容に出た IT・事例を整理しまとめておくこと。(30 分)
5	AI	授業内容	AI の仕組みやビジネスを取り巻く環境・事例について理解する。
		予習	身の回りにある AI が活用されているサービスの確認を行う。(30 分)
		復習	講義内容に出た IT・事例を整理しまとめておく。(30 分)

6	ビッグデータ/AI	授業内容	ビッグデータ/AI の仕組みやビジネスを取り巻く環境・事例について理解し、活用シーンのアイデアを練る。
		予習	前回の講義のまとめと、AI の活用シーンを考える。(60分)
		復習	自分で考えた活用シーンのアイデアを整理しまとめておく。(30分)
7	まとめと Society5.0	授業内容	内容の振り返りと今後継続して学習するための方法等を理解する。
		予習	最終課題についてラフ案をまとめておく。(60分)
		復習	まとめを踏まえ最終課題の作成を行う。(120分)
8	DX	授業内容	DX やビジネスを取り巻く環境・事例について理解する。
		予習	最終課題について完成稿に近いものをまとめておく。(60分)
		復習	最終課題の作成や見直しを行う。(60分)

評価法基準	最終課題レポート 80%、小課題 20% 基準：最終課題レポートは、①講義内容の知識の理解度②理解した知識を応用する力③アイデアをまとめる力を多面的に評価します。講義内でも最終課題レポートについて学生が考える機会を設けます。
教科書	なし
参考書	なし
履修上の注意	なし
オフィスアワー	授業前後、UNIVERSAL PASSPORT の授業 Q&A で受け付ける

科目名	在宅サービスの事業経営		担当教員	非常勤教員	
学科	理学療法学科		学年	2 学年	
学期	後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	1 単位	時間数	15 時間	回数	8 回

授業概要	創業企画から会社を軌道にのせるまでの方法や考え方を学ぶ。具体的には①会社概要、②創業動機・ビジョン、③事業内容、④競合分析と競争優位性、⑤ターゲット市場、⑥マーケティング状況、⑦ビジネスモデル、⑧販売計画、⑨仕入れ・経費計画、⑩事業化計画、⑪店舗計画、⑫資金計画、⑬資金繰り表、⑭収支計画、⑮事業リスクなどについて学び、自身を創業者に見立て理解を深める。
到達目標	① 事業経営に必要な事項について知り、資料を作成し説明できる。 ② 創業前に具体的にしておくべき事項について知ることができる。 ③ 創業後起こるリスクについて理解を深めることができる。

No.	テーマ		内容
1	会社設立・創業動機	授業内容	会社設立までの手続き方法を知る。
		予習	自身を創業者に見立て、会社概要・創業動機について考えておく。
		復習	講義・他者の意見等で気づいた点をふまえ自身の考えをまとめる。
2	事業内容・競合分析	授業内容	事業内容について考えを深める。競合分析を行う。
		予習	事業内容を具体的に考えておく。
		復習	講義・他者の意見等で気づいた点をふまえ自身の考えをまとめる。
3	ターゲット市場・マーケティング	授業内容	ターゲット市場の探し方・マーケティングについて知る。
		予習	事業の対象者についての的を絞り、その理由を考えておく。
		復習	講義・他者の意見等で気づいた点をふまえ自身の考えをまとめる。
4	ビジネスモデル・販売計画	授業内容	ビジネスモデルを作成し、販売計画を作成する。
		予習	事業継続していく上での仕組みを図にして考えておく。
		復習	講義・他者の意見等で気づいた点をふまえ自身の考えをまとめる。
5	経費計画・事業化計画	授業内容	経費計画、事業化計画の実例を知り、作成する
		予習	経費に係るものを列挙しておく。
		復習	講義・他者の意見等で気づいた点をふまえ自身の考えをまとめる。
6	店舗計画・資金計画	授業内容	店舗計画・資金計画の実例を知り作成する。
		予習	資金がどの程度必要か考えておく。
		復習	講義・他者の意見等で気づいた点をふまえ自身の考えをまとめる。
7	資金繰り・収支計画	授業内容	資金繰りの実例を知り、実際に作成する。
		予習	資金調達の手段を考えておく。
		復習	講義・他者の意見等で気づいた点をふまえ自身の考えをまとめる。
8	事業リスク開設後の事	授業内容	事業リスクについて理解を深める。リスク表を作成する。
		予習	事業リスクにはどのようなものがあるか考えておく。
		復習	講義・他者の意見等で気づいた点をふまえ自身の考えをまとめる。

評価法基準	レポート：100% 事業経営についての多面的理解を評価する。
教科書	なし
参考書	なし
履修上の注意	なし
オフィスアワー	授業の前後で受け付ける

科目名	事業計画策定概論		担当教員	池田 栄治	
実務経験	実務的な金融機関での事業計画書審査、コンサルティング会社での事業計画書策定コンサルティング、研修会社での新規事業計画策定セミナー講師の経験と知識・スキルを活かして、学生の自由な発想から新規事業、新規のサービス・製品のアイデアを事業計画書にまとめ上げる力を養う。事業計画の作成過程において、文章の論理構成と第三者に伝わる表現能力を磨くことを重視する。				
学科	理学療法学科		学年	3 学年	
学期	後期	必修 / 選択	選択	授業形態	講義
単位数	2 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	企業の継続的成長や顧客創造を実現するために新たな事業活動は不可欠である。新たな事業活動の出発点である事業を構想（アイデア出し）する発想法を学び、保健医療分野において新しい事業やサービスを計画するための事業計画書を策定するプロセスを習得する。策定過程において、ビジョン、事業コンセプト、マーケティング戦略、財務戦略等の重要性を理解する。社会貢献につながるオンリーワンの構想を形にする。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 事業計画を策定するにあたり、一貫性、納得性ある論理的なストーリーが展開できる。</li> <li>② 事業計画の構成や記載方法を理解し、フォーマットに従ったわかりやすい表現ができる。</li> <li>③ 自分らしい楽しい事業計画を作成して、印象強く第三者に伝えることができる。</li> <li>④ 他者の見解を傾聴し、感想やアドバイスを伝えることができる。</li> </ul>

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	講義の全体像とゴール、事業計画書の策定目的、事業計画書の全体像
		予習	身近なニュービジネスのサーチ
		復習	授業内容をまとめ、次回までの実践テーマの決定・実践・振り返り・記録
2	クリエイティブ・シンキング	授業内容	事業アイデアの発想法、儲ける仕組み、ヘルスケアビジネスの特徴
		予習	ヘルスケア分野の新サービス、新商品のサーチ
		復習	授業内容をまとめ、次回までの実践テーマの決定・実践・振り返り・記録
3	アイデア出しと評価	授業内容	アイデアシートの記入と評価方法の習得
		予習	ヘルスケア分野の新サービス、新商品に関する独自のアイデア出し
		復習	授業のまとめ、アイデアシートの完成
4	マイ・ビジネスの目的	授業内容	事業への思い、コンセプトの組み立て方の習得
		予習	その事業を選択した理由の整理
		復習	授業のまとめ、事業コンセプトの完成
5	ビジネスモデルの整理	授業内容	事業ビジョンとビジネスモデルキャンパスの組み立て方の習得
		予習	その事業が目指すべき社会のイメージを考えてくる
		復習	授業のまとめ、ビジネスモデルの完成
6	マーケティング戦略・リサーチ	授業内容	市場手法、競合分析手法を理解し、誰に何を売るか検討する
		予習	顧客ターゲットと競合品のサーチ
		復習	授業のまとめ、ターゲットと競合分析の完成
7	マーケティング戦略・ストーリー	授業内容	ユーザーの購買ストーリー、ペルソナの作り方の習得
		予習	商品購入に至る行動のイメージを考えてくる
		復習	授業のまとめ、ビジョンストーリー、ペルソナの完成

8	マーケティング戦略・個別戦略	授業内容	4 P（商品・サービス、価格、広告宣伝、チャネル）の具体策の習得
		予習	何をいくらでどのように売るかを考えてくる
		復習	授業のまとめ、マーケティングプランの完成
9	事業収支計画①	授業内容	収支計画策定のための財務の基礎知識の習得
		予習	損益計算書の構造について調べてくる
		復習	財務分析手法や財務の基礎知識を再確認し、自力で作成できるようにする
10	事業収支計画②	授業内容	事業収支計画を作成する。前提条件を変えて3パターン作成。
		予習	売上高、費用の概算を立ててくる
		復習	授業のまとめ、事業収支計画書ドラフト作成
11	アクションプラン作成	授業内容	実行体制、リスクと対策、スケジュールの作成方法を習得する
		予習	業務プロセスを考えてくる
		復習	授業のまとめ、事業計画書のドラフト作成
12	事業計画書の作成	授業内容	事業計画書の完成（前半）
		予習	情報の整理と追加情報の確認
		復習	発表フォーマットへの整理
13	事業計画書の作成	授業内容	事業計画書の完成（後半）
		予習	情報の整理と追加情報の確認
		復習	発表フォーマットへの整理
14	発表会	授業内容	事業計画案の発表、質疑応答、アドバイスによる研鑽
		予習	発表リハーサル
		復習	アドバイスからの修正案作成
15	発表会③ まとめ	授業内容	事業計画案の発表、質疑応答、アドバイスによる研鑽、総括
		予習	発表リハーサル
		復習	アドバイスからの修正案作成

評価法基準	<p>評価法：アイデアシート 10%、ビジネスモデルキャンパス 10%、事業計画書評価 40%、筆記試験 40%。</p> <p>基準：事業計画書は新規性、実現可能性、収益可能性等の簡易評価視点で評価する。試験・レポートは事業計画書の策定過程で学習した経営戦略等の基本知識を評価する。</p>
教科書	教科書はなし、毎回レジュメを配布する。
参考書	<p>『マンガでやさしくわかる事業計画書』井口嘉則、日本能率協会マネジメントセンター、2013年</p> <p>『ヘルスケアビジネス成長戦略研究』松室孝明、ダイヤモンド社、2015年</p> <p>『儲けの仕組み』株式会社タンクフル、2019年</p>
履修上の注意	<p>全回出席して、着実に段階的に事業計画を策定することに努力すること。</p> <p>個人の事業アイデアは、他者との情報共有や相互アドバイスで向上するので、クラス内での意見交換には積極的に参加すること。</p>
オフィスアワー	質問等は授業の前後に受け付ける。

科目名	総合事業開発		担当教員	根岸 靖	
学科	理学療法学科		学年	4 学年	
学期	後期	必修	選択	授業形態	実技
単位数	1 単位	時間数	30 時間	回数	15 回

授業概要	経営分野の学びを、どのように保健医療分野及び隣接他分野で活かすことができるか、両者の接続を図ることを目的とする。事例研究を基に、ディスカッション形式による授業を展開する。保健医療分野の経営戦略・マーケティング・財務戦略・IT・人事戦略の事例、隣接他分野での新しいサービス開発事例などを取り上げる。ゲストスピーカーを招き、実務現場の臨場感を伝える場を設けるなど、実践的な授業を行う。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 自身でビジネスプラン(事業計画)を一通り立てられる。</li> <li>② 企業での事業の成り立ちや進め方を理解できる。</li> <li>③ チームメンバーとして、事業を計画する上での役割分担について理解する。</li> <li>④ 資料作成に必要な手法を身につける。</li> </ul>

No.	テーマ		内容
1	オリエンテーション	授業内容	授業の目的及び進め方を提示し、活動するグループ分けを行う
		予習	今までに受講した経営系の科目の復習
		復習	策定するビジネスプランのテーマを考える準備を行う
2	ビジネスプランとは	授業内容	基本的なビジネスプランの構成、策定の目的などを学ぶ
		予習	新聞の経済・企業面など読み情報収集する
		復習	講義中に取り上げたテーマを中心に、新聞やインターネットなどから実際の企業ではどのように事業を進めているか確認する
3	ビジネスのアイデア	授業内容	ビジネスプランの中心となる事業のアイデアについて学ぶ
		予習	新聞の経済・企業面など読み情報収集する
		復習	授業でグループディスカッションした内容を元に、自分の身近な生活の中でアイデアとなるものを考える
4	戦略とは	授業内容	事業戦略とは何か、その目的、効果などについて学ぶ
		予習	新聞の経済・企業面など読み情報収集する
		復習	授業で取り上げたケーススタディに類似した商品等を素材に、自身の生活の中でどのような戦略に基づいて事業展開しているかを考える
5	ターゲット	授業内容	戦略を立てる上でのターゲット設定について学ぶ
		予習	新聞の経済・企業面など読み情報収集する
		復習	授業で取り上げたケーススタディに類似した商品等を素材に、自身の生活の中でどのような戦略に基づいて事業展開しているかを考える
6	マクロ環境分析	授業内容	ビジネスプランを策定するために必要な分析手法を学ぶ
		予習	新聞の経済・企業面など読み情報収集する
		復習	授業で取り上げたケーススタディに類似した商品等を素材に、自身の生活の中でどのような戦略に基づいて事業展開しているかを考える

7	ビジネスプラン作成の基本	授業内容	実際にビジネスプランを策定するために必要な手法や基本となるフォーマットを学ぶ
		予習	パワーポイントやエクセル等の基本的な遣い方を理解しておく
		復習	授業中に取り組んだ課題の内容を確認し、理解を深める
8	ビジネスプランの作成1	授業内容	これまで学んだ内容を元に、グループでビジネスプランを策定する。グループで取り上げるテーマを確定させる。
		予習	テーマとして取り上げる事柄を決めるための情報収集
		復習	取り上げたテーマについての情報収集、グループでのディスカッション
9	ビジネスプランの作成2	授業内容	自分たちで取り上げるテーマについての基本的な方向性を考える
		予習	テーマとして取り上げる事柄を決めるための情報収集
		復習	取り上げたテーマについての情報収集、グループでのディスカッション
10	ビジネスプランの作成3	授業内容	テーマをブレークダウンし、ビジネスプランを策定するために必要な情報収集とその分析を行う
		予習	ビジネスプラン策定のための情報収集、資料作成
		復習	テーマについての情報収集、グループでのディスカッション
11	ビジネスプランの作成4	授業内容	情報収集と分析から、他社との差別化要因について整理し、プランの内容を深めていく
		予習	ビジネスプラン策定のための情報収集、資料作成
		復習	テーマについての情報収集、グループでのディスカッション
12	ビジネスプランの作成5	授業内容	分析収集した情報を整理し、プラン策定のとりまとめにつなげる
		予習	ビジネスプラン策定のための情報収集、資料作成
		復習	ビジネスプラン策定のための資料作成、グループでの進め方についてのディスカッション
13	ビジネスプランの作成6	授業内容	最終報告会に向け、ビジネスプランの全体像を概観する
		予習	ビジネスプラン策定のための情報収集、資料作成
		復習	ビジネスプラン策定のための資料作成、グループでの進め方についてのディスカッション
14	ビジネスプランの作成7	授業内容	発表会での発表内容を確定させ、効果的なプレゼンテーションの仕方を考える
		予習	ビジネスプラン策定のための情報収集、資料作成
		復習	最終報告会に向けての発表練習
15	ビジネスプランの発表	授業内容	策定したビジネスプランをグループごとに発表する。発表内容について、全員でディスカッションを行う。
		予習	発表に向けてのプレゼンテーション練習
		復習	策定したビジネスプランやプレゼンテーション方法についての振り返り



評価法基準	課題及び試験 (50%)、プレゼンテーション (50%)
教科書	教科書はなし。都度、資料を配布する。
参考書	参考書：「MBA ビジネスプラン」(グロービス著)、「Excel ではじめてのビジネスプランが書ける本」 (若月 光博著)
履修上の注意	自らが事業を立ち上げると考え、積極的にグループ活動に参加し、能動的に授業に臨むこと。
オフィスアワー	授業の前後に受け付ける